

令和7年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

（令和6年度事業対象）

令和7年8月

菊川市教育委員会

目 次

ページ

1 教育委員会の点検・評価について

- | | |
|--------------------|---|
| 1) 趣旨 | 2 |
| 2) 点検・評価の対象 | 2 |
| 3) 点検・評価シートの構成 | 2 |
| 4) 学識経験者の知見の活用について | 3 |
| 5) 公表について | 3 |

2 教育委員会の活動及び運営状況報告

- | | |
|-----------------------|---|
| 1) 教育委員会委員構成 | 4 |
| 2) 令和6年度教育委員会審議状況 | 5 |
| (1) 菊川市教育委員会審議案件 | 5 |
| (2) 菊川市教育委員会報告事項 | 7 |
| 3) 令和6年度教育委員会議以外の活動報告 | 9 |

3 自己点検・評価シート

- | | |
|---------------------------------|----|
| 1) 教育委員会の活動「シート1」 | 11 |
| 2) 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」 | 12 |
| 3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」 | 13 |
| こども政策課 事務事業評価 | 14 |
| 学校教育課 事務事業評価 | 19 |
| 教育総務課 事務事業評価 | 30 |
| 社会教育課 事務事業評価 | 36 |
| 図書館 事務事業評価 | 61 |

4 学識経験者の知見の活用

- | | |
|---------|----|
| 1) 外部評価 | 70 |
|---------|----|

1. 教育委員会の点検・評価について

1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、教育委員会自らが点検評価を行うことが義務付けられています。

これは、教育委員会の今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、政策効果、必要性、効率性等について、教育行政の一層の推進を図ることを目的としています。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに一般市民に公表することにより、説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目指してまいります。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、令和6年度における教育委員会の活動や運営状況及び関係各課の事務事業を対象として点検評価を実施いたしました。

3) 点検・評価シートの構成

① 教育委員会の活動及び運営状況「シート1」

令和6年度における教育委員会の活動及び運営状況の報告を行うとともに、会議の運営改善・公開、情報発信等の活動や運営について、自らが行う事業や活動を中心に6つの項目に分け、点検事項として小項目を設け、各項目の点検評価を行いました。

② 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」

法第21条の規定に基づき、教育委員会が自ら管理・執行する事項について、12の項目に分け構成しました。

上記の①と同様に、令和6年度における各事務の対応状況等について点検評価を行いました。

③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」

法第25条第1項の規定に基づき、教育委員会が管理・執行を教育長に委任して行う事務・事業のうち、教育委員会事務局を構成する各担当課及び教育委員会の権限に属する事務の一部を補助執行する担当課が扱う施策ごとに体系図（菊川市教育振興基本計画による体系図）と点検評価のシートを作成し、施策を構成する主な事務事業の実施状況について点検し、評価を実施しました。

4) 学識経験者の知見の活用について

法第26条第2項の規定による「学識経験等を有する者の知見の活用」については、それぞれ関係する組織の代表者の皆様にお願ひし、評価結果に対するご意見をいただき外部評価としました。

外部評価依頼者

	職 名		氏 名	対象事務事業
1	教育委員	元教育長職務代理者	松下 彰	教育委員会活動、学校教育等
2	〃	元委員	笹瀬 昌子	〃
3	教育文化部	元部長	加藤 容章	〃
4	社会教育委員	委 員 長	中 嶋 るり子	社会教育、文化振興・生涯学習
5	小中 PTA 連絡協議会	前 会 長	勝尾 周仁	学校教育
6	子ども会連合会	前 会 長	中根 綾佳	社会教育
7	文化協会	前 会 長	袴田 由貴子	文化振興・生涯学習
8	文化財保護審議会	会 長	北原 勤	文化財
9	横地城跡保存会	会 長	福井 淳一	〃
10	スポーツ推進委員	委 員 長	安藤 正樹	スポーツ振興
11	NPO法人スポーツ協会	会 長	岩水 素江	スポーツ振興・生涯学習
12	スポーツ推進審議会	副 会 長	服部 茂和	スポーツ振興
13	図書館協議会	副 会 長	黒田 栄子	図書館
14	給食センター運営委員会	前委員長	村松 美恵	学校給食
15	〃	前副委員長	中岸 千代	〃
16	小笠北幼稚園 PTA	前 会 長	渡邊 平	幼児教育

5) 公表について

公表については、菊川市のホームページに掲載するとともに、市役所本庁や小笠支所、菊川文庫、小笠図書館に報告書を置き、閲覧できるようにいたします。

2. 教育委員会の活動及び運営状況報告

1) 菊川市教育委員会 委員構成

令和6年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期	
教 育 長	松 本 嘉 男	任期 教育長任期	R4.2.10～R7.2.9 R4.2.10～R7.2.9
委 員 (教育長職務代理者)	赤 堀 ひ と み	任期 職務代理者任期	R4.2.10～R8.2.9 R4.2.10～R7.2.9
委 員	渡 邊 尚 司	任期	R5.2.10～R9.2.9
	岡 本 直 彦	任期	R3.2.10～R7.2.9
	粕 谷 友 一	任期	R6.2.10～R10.2.9

2) 菊川市教育委員会 委員構成

令和7年2月10日現在

職 名	氏 名	任 期	
教 育 長	不 在	任期 教育長任期	
委 員 (教育長職務代理者)	赤 堀 ひ と み	任期 職務代理者任期	R4.2.10～R8.2.9 R4.2.10～R8.2.9
委 員	渡 邊 尚 司	任期	R5.2.10～R9.2.9
	粕 谷 友 一	任期	R6.2.10～R10.2.9
	藤 原 功 佳	任期	R7.2.10～R11.2.9

※令和7年2月10日～3月31日の期間は教育長不在のため、地方教育行政の組織及び運用に関する法律第13条第2項の規定により、教育長職務代理者が職務を代行した。また、事務執行が困難な場合には、同法律第25条第4項の規定により教育文化部長が職務を臨時代理した。

2) 令和6年度 菊川市教育委員会審議状況

(1) 菊川市教育委員会 審議案件

議案 番号	件 名	提 出 日		担 当 課
1	準要保護世帯の認定について	4月23日	定例会	教育総務課
2	菊川市就学支援委員会委員の委嘱について	4月23日	〃	学校教育課
3	菊川市立小・中学校主任等の任命について	4月23日	〃	学校教育課
4	菊川市未来の部活動在り方検討会委員の委嘱について	4月23日	〃	学校教育課
5	菊川市社会教育委員及び菊川市公民館運営審議会委員の委嘱について	4月23日	〃	社会教育課
6	菊川城館遺跡群整備委員会委員の委嘱について	4月23日	〃	社会教育課
7	菊川市文化振興計画推進委員会設置要綱の一部改正について	4月23日	〃	社会教育課
8	菊川市立図書館協議会委員の任命について	4月23日	〃	図書館
9	菊川市幼稚園評議員の委嘱について	4月23日	〃	こども政策課
10	菊川市教育委員会職員の時差出勤勤務制度に関する規程の一部改正について	4月23日	〃	教育総務課
11	準要保護世帯の認定について	5月21日	定例会	教育総務課
12	令和6年度区域外就学について	5月21日	〃	学校教育課
13	菊川市青少年健全育成市民会議常任委員の委嘱について	5月21日	〃	社会教育課
14	菊川市菊川文化会館アエル運営委員会委員の委嘱について	5月21日	〃	社会教育課
15	菊川市文芸誌編集委員会委員の委嘱について	5月21日	〃	社会教育課
16	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について	5月21日	〃	教育総務課
17	菊川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について	5月21日	〃	学校教育課
18	菊川市子ども読書活動推進協議会委員の任命について	5月21日	〃	図書館
19	菊川市子ども読書活動庁内推進委員会要綱の一部改正について	5月21日	〃	図書館
20	令和6年度一般会計補正予算(第1号)(案)について	5月21日	〃	教育文化部 連携調整室
21	準要保護世帯の認定について	6月21日	定例会	教育総務課
22	菊川市学校の未来を考える会委員の委嘱について	6月21日	〃	学校教育課
23	準要保護世帯の認定について	7月18日	定例会	教育総務課
24	令和7～10年度使用中学校教科用図書の採択について	7月18日	〃	学校教育課
25	菊川市立小笠北幼稚園の廃止及び菊川市立学校設置条例の一部改正について	7月18日	〃	教育総務課
26	菊川市立学校給食センター条例の一部改正について	7月18日	〃	教育総務課
27	準要保護世帯の認定について	8月20日	定例会	教育総務課
28	令和6年度 教育委員会の自己点検・評価報告書について	8月20日	〃	教育総務課
29	教育財産(児童学習用1人1台端末等)の取得について	8月20日	〃	学校教育課
30	令和6年度一般会計補正予算(第2号)(案)について	8月20日	〃	教育文化部 連携調整室

議案 番号	件 名	提 出 日		担 当 課
31	市有財産の取得について(小学校児童学習用パーソナルコンピューター及びワイヤレス画面転送装置の新規購入)	8月22日	臨時会	学校教育課
32	準要保護世帯の認定について	9月20日	定例会	教育総務課
33	令和6年度一般会計補正予算(第3号)(案)について	9月20日	〃	教育文化部 連携調整室
34	準要保護世帯の認定について	10月18日	定例会	教育総務課
35	菊川市教育委員会職員の職の設置等に関する規則の一部改正について	10月18日	〃	教育総務課
36	菊川市幼稚園管理運営に関する規則等の廃止について	10月18日	〃	教育総務課
37	菊川市幼稚園評議員設置要綱の廃止について	10月18日	〃	教育総務課
38	菊川市立学校給食センター条例施行規則の一部改正について	10月18日	〃	教育総務課
39	菊川市学校給食調理等業務委託業者選定委員会設置要綱の一部改正について	10月18日	〃	教育総務課
40	菊川市区域外就学に関する事務取扱要綱及び菊川市指定学校変更事務取扱要綱の一部改正について	10月18日	〃	学校教育課
41	菊川市家庭教育学級事業事務取扱要領の一部改正について	10月18日	〃	社会教育課
42	菊川市子ども読書活動庁内推進委員会要綱の一部改正について	10月18日	〃	図書館
43	準要保護世帯の認定について	11月20日	定例会	教育総務課
44	菊川市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部改正について	11月20日	〃	教育総務課
45	指定管理者の指定について(菊川市民総合体育館 菊川市小笠体育館 菊川市堀之内体育館)	11月20日	〃	社会教育課
46	指定管理者の指定について(菊川市菊川運動公園 菊川市和田公園 菊川市菊川公園 菊川市尾花公園 菊川市尾花運動公園)	11月20日	〃	社会教育課
47	指定管理者の指定について(菊川市丹野グラウンド 菊川市小笠グラウンドゴルフ場)	11月20日	〃	社会教育課
48	令和6年度一般会計補正予算(第4号)(案)について【教育文化部】	11月20日	〃	教育文化部 連携調整室
49	令和6年度一般会計補正予算(第4号)(案)について【こども未来部】	11月20日	〃	こども未来部 連携調整室
50	準要保護世帯の認定について(新規申請)	12月19日	定例会	教育総務課
51	準要保護世帯の認定について(入学前支給申請)	12月19日	〃	教育総務課
52	令和7年度給食実施の回数について	12月19日	〃	教育総務課
53	令和7年度給食費の額について	12月19日	〃	教育総務課
54	準要保護世帯の認定について	1月21日	定例会	教育総務課
55	菊川市立図書館条例施行規則の一部改正について	1月21日	〃	図書館
56	準要保護世帯の認定について	2月10日	定例会	教育総務課
57	スポーツ大会出場選手又は団体に対する菊川市教育委員会奨励金支給要綱の一部改正について	2月10日	〃	社会教育課
58	令和6年度一般会計補正予算(第6号)(案)について【教育文化部】	2月10日	〃	教育文化部 連携調整室
59	令和7年度一般会計当初予算(案)について【教育文化部】	2月10日	〃	教育文化部 連携調整室
60	令和6年度一般会計補正予算(第6号)(案)について【こども未来部】	2月10日	〃	こども未来部 連携調整室
61	令和7年度教職員の人事異動について	3月3日	臨時会	学校教育課
62	準要保護世帯の認定について(新規申請)	3月26日	定例会	教育総務課

議案 番号	件 名	提 出 日		担 当 課
63	準要保護世帯の認定について(継続申請)	3月26日	〃	教育総務課
64	令和7年度 指定学校変更について	3月26日	〃	学校教育課
65	菊川市就学援助費支給要綱の一部改正について	3月26日	〃	教育総務課
66	菊川市教育委員会公印規則の一部改正について	3月26日	〃	教育総務課
67	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	3月26日	〃	学校教育課
68	菊川市学校運営協議会委員の委嘱について	3月26日	〃	学校教育課
69	菊川市学舎ディレクターの委嘱について	3月26日	〃	学校教育課
70	菊川市コミュニティ・スクールアドバイザーの委嘱について	3月26日	〃	学校教育課
71	菊川市招致外国青年就学規則の一部改正について	3月26日	〃	学校教育課
72	菊川市立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部改正について	3月26日	〃	学校教育課
73	菊川市立小・中学校学籍事務取扱要領の一部改正について	3月26日	〃	学校教育課
74	菊川市立小・中学校処務規程の一部改正について	3月26日	〃	学校教育課
75	菊川市中央公民館開館時間及び使用時間延長の試行について	3月26日	〃	社会教育課
76	菊川市スポーツ推進委員の委嘱について	3月26日	〃	社会教育課
77	菊川市スポーツ委員の委嘱について	3月26日	〃	社会教育課
78	令和7年4月1日付け教育委員会事務局職員の人事異動について	3月26日	〃	教育総務課

令和6年度は合計で78件について審議を行いました。

(2) 菊川市教育委員会 報告事項

番号	件名	提出日		担 当 課
1	令和6年度 菊川市当初予算概要、施政方針及び市の組織等について	4月23日	定例会	教育文化部 連携調整室
2	令和6年度 教育委員会事務局 部の運営方針、組織及び事務等について	4月23日	〃	教育文化部 連携調整室
3	令和6年度 こども未来部 部の運営方針、組織及び事務等について	4月23日	〃	こども未来部 連携調整室
4	令和6年度保育施設等の入所状況について	4月23日	〃	こども政策課
5	寄附申込について	5月21日	定例会	学校教育課
6	菊川市学舎コミュニティ・スクール(岳洋学舎学校運営協議会)について	5月21日	〃	学校教育課
7	まちづくり3大プロジェクトについて	5月21日	〃	学校教育課
8	菊川市未来の部活動在り方検討会について	5月21日	〃	学校教育課
9	菊川市学舎コミュニティ・スクール(菊西学舎学校運営協議会、菊東学舎学校運営協議会)について	6月21日	定例会	学校教育課
10	「菊川市こども計画」の策定及び「こども施策」の推進体制について	6月21日	〃	こども政策課
11	図書館情報システム更新及び電子図書館導入に係る事業者選定のプロポーザルについて	6月21日	〃	図書館
12	スポーツ推進委員及びスポーツ委員の変更について	6月21日	〃	社会教育課

番号	件名	提出日		担 当 課
13	教育委員会行事等予定(令和6年8月～9月)について	7月18日	定例会	教育総務課
14	菊川市における不登校児童生徒対策について	7月18日	〃	学校教育課
15	菊川市の教育2024について	8月20日	定例会	教育総務課
16	菊川市の外国人児童生徒への支援について	8月20日	〃	学校教育課
17	これからの学校の在り方について	8月20日	〃	学校教育課
18	菊川市のプール維持管理の現状と他県他市等の民間委託について	9月20日	定例会	学校教育課
19	全国学力・学習状況調査の結果について	9月20日	〃	学校教育課
20	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の変更について	9月20日	〃	教育総務課
21	令和6年度菊川市教育委員会視察研修について	9月20日	〃	教育総務課
22	休日の部活動の地域移行の計画について	10月18日	定例会	学校教育課
23	令和7年度学校評価に係る市内小中学校統一項目について	11月20日	定例会	学校教育課
24	図書館の休館日と開館時間における図書館協議会からの答申について	11月20日	〃	図書館
25	令和7年菊川市はたちの集いについて	12月19日	定例会	社会教育課
26	菊川市こども計画(案)について	12月19日	〃	こども政策課
27	図書館における休館日及び開館時間について	12月19日	〃	図書館
28	菊川市教育委員会委員の任命について	1月21日	定例会	教育総務課
29	教育委員会行事等予定(令和7年2月～4月)について	1月21日	〃	教育総務課
30	令和6年度卒業式・令和7年度入学式日時及び出席管理者(案)について	1月21日	〃	教育総務課
31	令和7年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程(案)について	1月21日	〃	教育総務課
32	図書館システム更新に伴う電子図書館の稼働等について	1月21日	〃	図書館
33	令和6年度離任式・令和7年度着任式について	2月10日	定例会	学校教育課
34	令和7年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程について	3月26日	定例会	教育総務課

3) 令和6年度 教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校及び教育施設訪問

小学校5校、中学校2校、認定こども園1園及び教育施設1箇所の訪問を実施しました。

訪問日	訪問施設	訪問日	訪問施設
5月21日	おおぞら認定こども園	10月18日	牧之原中学校
6月21日	小笠北小学校	11月20日	加茂小学校
7月18日	堀之内小学校	12月19日	岳洋中学校
8月20日	文化会館アエル	1月21日	横地小学校
9月20日	六郷小学校		

(2) 会議・研修会

教育長及び教育委員を対象とした、次の会議及び研修会に参加しました。

開催日	会議・研修名	出張先	出席者
4月10日	静岡県市町教育委員会教育長会	静岡市(県庁)	1名
4月12日	第1回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
4月22日	静岡県都市教育長協議会総会	沼津市	1名
4月24日	第1回小笠地区教科書採択連絡協議会	御前崎市	1名
4月25日	静岡県市町教育委員会連絡協議会総会	富士市	1名
5月9～10日	全国都市教育長協議会定期総会	長崎県長崎市	1名
6月10日	3市教育長会議	掛川市	1名
6月26日	第2回小笠地区教科書採択連絡協議会	掛川市	1名
7月9日	第2回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
7月22日	3市教育長会議	掛川市	1名
7月25日	静岡県市町教育長研修会	菊川市	1名
8月20日	子どもと教育長・教育委員が語る会	菊川市	5名
10月4日	第3回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
10月8日	3市教育長会議	掛川市	1名
10月24～25日	菊川市教育委員会視察研修	京都府京都市	5名
11月18日	第4回静西市町教育長連絡協議会	掛川市	1名
1月14日	3市教育長会議	掛川市	1名
1月30日	静岡県市町新任教育委員研修会	掛川市	2名
2月5日	3市教育長会議	掛川市	1名

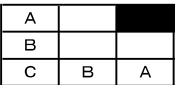
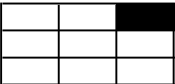
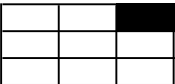
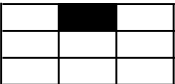
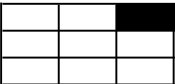
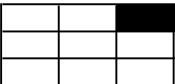
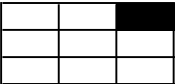
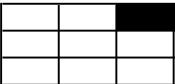
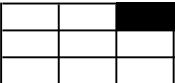
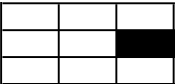
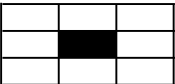
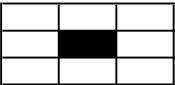
(3) 各種行事・大会

その他、次の各種行事・大会に参加しました。

開催日		行事・大会名	
開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	1日:教職員着任式 4日:菊川市スポーツ少年団結団式 5日:小・中学校 入学式 13日:菊川市文化協会総会 14日:スポーツ委員研修会 18日:中学生ふるさと未来塾(岳洋中)	10月	24日:中学生ふるさと未来塾(菊川西中)
5月	15日:市町人権教育連絡協議会総会 25日:市内高等学校野球大会 30日:菊川市スポーツ協会総会	11月	2・3日:菊川市文化祭 3日:スポーツレクリエーションフェスティバル -KIKUGAWA2024(中止) 10日:第25回静岡県市町対抗駅伝競走 大会菊川市選手団結団式 26日:文学講演会 30日:第25回静岡県市町対抗駅伝競走 大会
6月	3日:こころの劇場 14日:青少年健全育成市民会議常任 委員会 15日:体力測定会 & 健康チェック	12月	11日:菊川市いじめ防止サミット 13日:県下一斉冬季青少年街頭生活指導 15日:第20回菊川Cityマラソン
7月	6日:おはなしステーション 17日:小谷村立小谷小学校との交流会 (小笠北小) 19日:県下一斉夏季青少年街頭生活指導	1月	11日:スポーツ少年団交流会 12日:令和7年菊川市はたちの集い 19日:第21回菊川市民健康駅伝競走大会 26日:第14回深蒸し茶の里'菊川ファン駅伝' 25・26日:小谷村スキー体験教室
8月	2日:小笠地区社会教育委員研修会 5日:学び続ける教員研修会 5日:中体連東海大会以上出場部活表敬 訪問	2月	8日:第20回菊川市書き初め展表彰式 16日:ベタボード交流会
9月	7日:菊川市民絵画コンクール表彰式 15日:市町対抗駅伝競走大会菊川市選考 記録会 30日:日常的なICT活用で実現する 令和の学び研修会	3月	2日:ビーチボール交流会 19日:小・中学校 卒業式 25日:市子ども会連合会総会 27日:教職員離任式

[自己点検・評価]

シート 1		(大項目)	教育委員会の活動										
表の見方													
シート1 シート2		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A			B			C	B	A	実現度 A=達成又はほぼ達成している。(80%以上) B=概ね達成している(60%以上80%未満) C=努力を要する。(60%未満) 重要度 A=非常に重要 B=重要 C=緊急性は低い	
A													
B													
C	B	A											
中項目	小項目	点検・評価											
(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・定例会を12回、臨時会を2回開催し、78件の議案について審議した。	
②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・会議時間の短縮に努めた。 ・資料の事前配布を行った。 ・定例会教育委員会の開催年間スケジュールを作成した。		
(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和6年度は、定例会に延べ3名の傍聴があった。	
②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和6年度は、会議録等の資料公開要求がなかった。		
(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・教育委員会会議の開催前に事前打合せを行った。	
(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和6年度は、総合教育会議に1回参加した。	
(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・研修会等に参加した。令和6年度は「子どもと教育長・教育委員が語る会」を8月20日に実施し、市内小学生と誰もが楽しめる学校作りのアイデアを共有した。 ※P9 会議・研修会参照	
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・市内の市立小中学校への訪問を6校(小学校5校、中学校1校)、牧之原市菊川市学校組合立小中学校への訪問を1校(中学校1校)実施し、各学校の概要の把握、授業参観、フリートーク方式による意見交換を行った。	
②教育施設の訪問	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・市内の教育施設への訪問を2箇所(おおぞら認定こども園、文化会館アエル)実施し、施設の概要の把握、施設内見学、フリートーク方式による意見交換を行った。		

シート 2		(大項目)	教育委員会が管理・執行する事務
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(1)教育行政の運営に関する基本方針を定めること	実現度 ↑  →重要度	・「菊川市教育振興基本計画(R6～R8)」を令和5年度に策定済み。	
(2)教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること	実現度 ↑  →重要度	・令和6年度は、20件の規則、要綱等の制定、改正及び廃止を行った。	
(3)教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	実現度 ↑  →重要度	・当初予算案及び補正予算案を議案上程した。 ・議会の議決に付すべき契約について、議案上程した。 ・議会の議決に付すべき財産の取得について、議案上程した。	
(4)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	実現度 ↑  →重要度	・令和6年度は、1件の議案について審議した。 (市立小笠北幼稚園の廃止)	
(5)教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関する事(県費負担教職員の任免を除く)	実現度 ↑  →重要度	・教育委員会事務局に属する職員の人事異動について、議案上程し、審議をした。	
(6)県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関する事	実現度 ↑  →重要度	・次年度学校長の人事異動案について審議し、内申を行った。	
(7)県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事	実現度 ↑  →重要度	・次年度教職員等の人事異動案について審議し、内申を行った。	
(8)教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事	実現度 ↑  →重要度	・教育委員会が任命・委嘱する人事案件はすべて上程し、審議をした。	
(9)教科用図書の採択の決定に関する事	実現度 ↑  →重要度	・令和6年度は、議案1件(中学校教科用図書)を上程し、審議をした。	
(10)通学区域を設定し、又は変更すること	実現度 ↑  →重要度	・令和6年度は、議案はなかった。	
(11)文化財を指定し、又は指定を解除すること	実現度 ↑  →重要度	・令和6年度は、議案はなかった。	
(12)請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事	実現度 ↑  →重要度	・令和6年度は、教育委員会に対する請願、陳情、訴訟及び異議の申立てはなかった。	

シート 3

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

点検評価シート(重点施策)

菊川市教育振興基本計画における成果指標に対する実績値を記載したものの。計画は令和6年度から令和8年度までの計画期間であり、今回はその初年度となる令和6年度の実績値を記載した。

点検評価シート(施策)の実績評価

A=十分な成果があり、施策の目的が達成された。
B=一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。
C=十分な成果が得られず、改善が必要である。

担当課名	番号	重点施策(大分類)	ページ	
			重点 施策	施策
こども政策課	①	幼児教育・保育の質の向上	15	16
	②	地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	15	17
学校教育課	①	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進	20	23
	②	ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり	20	24
	③	思いやりに満ちた学校づくり	21	25
	④	「一人ひとりが生きる教育」の推進	21	26
	⑤	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	22	28
	⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	22	-
教育総務課	⑥	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	31	32
	⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	-	33
給食センター (教育総務課)	⑧	安全でおいしい給食の安定的な提供	31	34
社会教育課	①	社会教育	地域で子どもを守り育てる活動の推進	39 44
	②		家庭の教育力向上	39 46
	③		生涯学習活動の推進	40 47
	④		鑑賞機会の提供	40 47
	⑤		市民の文化・芸術活動への支援	41 48
	⑥	文化振興	文化財の保存・周知・活用	41 50
	⑦	スポーツ振興	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	42 53
	⑧		スポーツ団体・スポーツ活動への支援	42 57
	⑨		スポーツ活動の場の提供	43 59
図書館	⑩	子どもの読書活動の推進		62 64
	⑪	読書機会の提供と読書活動の啓発		62 66
	⑫	読書環境の整備		63 68

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	1 生涯にわたる人格形成の基礎を培う教育・保育の推進【幼児教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
① 幼児教育・保育の質の向上 (こども政策課)	(1) 子どもの発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と体験を通して、興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進	ア 指導計画の更新
		イ 市内公立園研修会・市内公私立園職員研修会の開催
		ウ 各種園行事の充実
	(2) 保護者との連携	ア 家庭教育学級への参加
		イ 保護者の保育参加の推進
		ウ PTA活動、保護者会協力活動
	(3) 親子のふれあいを通した心の醸成	ア 親子の行事開催
		イ 読み聞かせ活動の推進
		ウ 図書館との連携
② 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携 (こども政策課)	(1) 地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進	ア 園行事への招待と地域行事への参加
		イ 地域の方とのふれあい活動の推進
	(2) 幼稚園・保育園・認定こども園との連携	ア 菊川市幼児施設連絡会との連携
		イ 小笠地区乳幼児保健会への出席
		ウ インクルーシブ教育の推進
	(3) 小中学校との交流の推進	ア 保・幼・こ・小連絡会の開催
		イ 教育委員会学校訪問への参加
		ウ 小学校との交流

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針1	生涯にわたる人格形成の基礎を培う教育・保育の推進					
重点施策①	幼児教育・保育の質の向上			担当課	こども政策課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「お子さんは、楽しんで登園している」と回答する保護者の割合(園アンケート調査結果)	—	83.1%	91.8%			85.6%
2. 成果指標の分析と課題						
・各園が日々の子どもの姿をこまめに伝えたり、保護者との連携を積み重ねたりしてきたことが、90%以上の回答率につながったと思われる。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・今後も、子どもの発達の特性に合わせた保育実践が子どもの育ちにつながるように、保育計画の立案、保育記録の継続を行う。						

基本方針1	生涯にわたる人格形成の基礎を培う教育・保育の推進					
重点施策②	地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携		担当課	こども政策課		
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
市内公私立園職員研修会(公開保育)の参加者数	26人	16人	29人			70人
2. 成果指標の分析と課題						
・令和6年度は参加者が増えている。保育の質の向上をめざし、研修に参加し学ぼうとする保育者が増加していると思われる。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・公開保育に参加することで得られる学びをアンケート収集し、その結果を各園に周知し、公開保育に参加する人数が更に増え、各園の保育の質の向上につながるようにする。						

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上		
施策名 (中分類)	子供の発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と、 体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進 【①-(1)】	担当課・係	
		こども政策課 幼保こども園係	
施策の目的	家庭と地域と連携して、乳幼児期の教育の目標を達成するために必要な様々な体験が豊富に得られるような環境を構成し、乳幼児期にふさわしい生活が営めるように努める。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市内公立園研修会、市内公私立園職員研修会を開催し、教育・保育の質の向上を図る。 ・各園において、各種園行事を実施するとともに、交流事業として、公立園の2園交流会を実施し、親子関係や友達関係を深める。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・市内公立園研修会、市内公私立園職員研修会を開催し、保育に対して学びを深めた。 ・各園において、各種行事を実施し、親子関係を深めることができた。公立園の2園交流会を実施し、友だち関係を広げることができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	各種研修会に参加し、公私立園の職員が共通の研修に参加する機会も設け、保育の質の向上を図れた。また、園行事、交流会(公立園)を通して、親子関係を深めたり、友達関係を広めたりすることができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・各種職員研修会は今後も継続し、保育の質の向上となるようにする。 ・各園行事は今後も継続し、親子ふれあいのきっかけや育ちの確認の場となるようにする。 ・公立園は一園となったため、公私園の隔たりなく交流ができるように場を設ける。		

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上		
施策名 (中分類)	保護者との連携【①-(2)】	担当課・係	
		こども政策課 幼保こども園係	
施策の目的	親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を共有・提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・各園の事業計画に従って、家庭教育学級による親子ふれあい活動や親同士の学習会、保護者の保育参加、保護者会協力活動を実施する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・家庭教育学級事業として、各園で親子ふれあい活動、保護者学習会を行ったり、園行事の一環で保育参加を行ったりした。親子の思い出づくりとなったり、子どもの成長を実感できる場となったりしていた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	各園、行事や活動等に保護者が参加したり、参観懇談会を実施し、子どもの育ちに共感したり、子育てについての悩みを相談したりすることで、よりよい親子関係を築くことができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・今後も親子ふれあい活動、保護者学習会や保護者懇談、保育参加などを続けることで、子どもの成長を実感し喜べる場を保護者に提供する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	幼児教育・保育の質の向上		
施策名 (中分類)	親子のふれあいを通した心の醸成 【①-(3)】	担当課・係	
		こども政策課 幼保こども園係	
施策の目的	親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め子どもの心の安定を図るとともに、絵本を用いた読み聞かせ活動を通して、絵本の楽しさを深め、自己肯定感をもてるようにする。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・各園の計画に従って、運動会、お楽しみ会等の親子の行事を開催し、親子の絆を深める。 ・親子の読み聞かせや図書館との連携により、子どもの情緒の安定を図るとともに、豊かな心を育み、想像力豊かな子どもを育てる。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・計画に従って、運動会、お楽しみ会等の親子の行事を開催し、親子の絆を深めることができた。 ・親子の読み聞かせや図書館との連携により、心が安定し、絵本の読み聞かせを静かに聞ける子が増えた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	行事に親子で参加する機会があることで、ふれあう喜びを感じ親子関係が深まった。また、様々な方の読み聞かせを実施したことで、絵本に関心をもつことができ、心の安定が図られた。		
今後の取組課題 又は改善点	・親子の絆が深まる行事の持ち方も園内で検討し、今後も大事にする。 ・絵本のよさを保護者にも再度啓発し、子どもの心の安定につなげる。		

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携		
施策名 (中分類)	地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進【②-(1)】	担当課・係	
		こども政策課 幼保こども園係	
施策の目的	地域の行事に園児が参加したり、防災の連携をしたりして地域との関わりを大切にする。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・地域住民を園行事に招待するとともに、地区センター祭り等の地域行事へ参加することで、地域の園に親しみをもってもらおう。 ・収穫体験等の地域の方とのふれあい活動を推進する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・地区センター祭り等の地域行事へ参加することで、地域の園に親しみをもってもらうことができた。 ・収穫体験等を通し、地域の方とのふれあい活動を推進することができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	地域の方と、芋ほりやたけのこ堀り等、収穫体験をすることで、食育への興味関心が広がった。また、地区センター祭り等のふれあい活動を楽しみながら参加した。		
今後の取組課題 又は改善点	・地域行事への参加や地区での収穫体験も継続しつつ、園近くへの散歩を通して地域の方とのふれあいも増やせるようにする。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携		
施策名 (中分類)	幼稚園・保育園・認定こども園との連携 【②-(2)】		担当課・係
			こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	公立園・私立幼稚園・民間保育所・認定こども園が幼児施設連絡会での研修会や園長会を通して互いの理解を図るとともに、職員の資質向上を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・幼児施設連絡会が主催する園長会及び各種研修会に出席し、公立園や私立園の連携を図るとともに、保育の質を向上し、市全体の幼児教育をより良いものにする。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・幼児施設連絡会主催の園長会や研修会を行い、公私園の連携を図ることができた。また共通の研修を受けることで、お互いの情報交換ができ、保育の質の向上につながった。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	幼児施設連絡会での研修会では、共通の研修を受講することにより、共通理解しながら職員の資質向上を図ることができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・園長会は今後も継続し、市内園の情報交換の貴重な場としていく。 ・公私園が共通の研修を行うことで、多数の職員が保育の質の向上へ意識をもてるようにする。		

施策名 (大分類)	地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携		
施策名 (中分類)	小中学校との交流の推進 【②-(3)】		担当課・係
			こども政策課 幼保こども園係
施策の目的	生涯の人間形成の基となる幼児期の教育の重要性を多くの人に理解してもらうため、幼稚園・保育園が互いに横の連携を取りながら、子どもの育ちを小学校、中学校へとつなげる。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・保・幼・こ・小連絡会の開催や園の公開保育へ小学校教諭が参加することにより、園から小学校の円滑な接続を図る。 ・教育委員会学校訪問へ参加し、学校現場の実態等について視察する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・保・幼・こ・小連絡会の開催や園の公開保育へ小学校教諭が参加し、園の保育にふれることができた。 ・教育委員会学校訪問へ参加し、学校現場の実態等について学ぶことができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	保、幼、こ、小連絡会で子どものことについて情報交換したり、園の公開保育や教育委員会学校訪問へ参加したりすることで、地域の子どもの実態把握ができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・今後も地域の子どもの実態把握ができるよう、情報交換の場を設け、学校職員による公開保育への参加や園職員による学校訪問も継続していく。		

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	2 「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進【学校教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
① 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 (学校教育課)	(1) 地域・学校間連携の推進及び学校間交流の促進	ア 学校運営協議会の開催
		イ 地域学校協働活動推進事業
		ウ 学校の未来を考える会の実施(今後の学校の在り方の検討)
		エ 保幼小中高の連携の推進
	(2) 豊かな学びを支える環境づくりの推進	ア 環境教育、食育、キャリア教育の推進
		イ 企業と連携した教育活動の推進
		ウ 未来の部活動在り方検討会の実施
② ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり (学校教育課)	(1) 魅力ある授業づくりの推進	ア 学校訪問による授業改善支援
		イ 推進校を中心としたICTを活用した授業づくり研修会等の実施
		ウ 全国学力・学習状況調査の分析
		エ カリキュラム・マネジメントシートを活用した教科横断的な授業づくりの推進
	(2) GIGAスクール構想の推進	ア 校務の情報化の推進
		イ 菊川市情報教育モデルカリキュラムの活用
		ウ ICT推進委員会の開催
		エ ICT機器の整備・更新
③ 思いやりに満ちた学校づくり (学校教育課)	(1) 魅力ある学校づくり	ア 子どもの声調査を活用した教育活動の見直し
		イ 魅力ある学校づくり研修会の実施
	(2) 「心の教育」の推進	ア いじめ防止対策の推進(いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題調査委員会の開催)
		イ 人権教育、福祉教育の実践
		ウ 考える道德の推進
	(3) 児童・生徒の心に寄り添う支援	ア 教育支援センターの運営
		イ こころの教室相談員の配置
④ 「一人ひとりが生きる教育」の推進 (学校教育課)	(1) 特別支援教育の推進	ア 就学支援委員会の開催
		イ 巡回相談及び教育相談の実施
		ウ 学級・学校支援員の配置
		エ 教職員研修の充実
	(2) 外国人児童生徒への教育支援	ア 外国人児童生徒就学支援
		イ 支援員の配置
		ウ 外国人担当者研修会の開催
	(3) 安全教育の充実	ア 自分の命は自分で守る学校安全
		イ 通学路点検の実施
		ウ 危機管理マニュアルの見直し
⑤ こころざしを持った頼もしい教職員の育成 (学校教育課)	(1) 教職員の育成指導	ア 経験や課題に応じた研修会の実施
		イ 学校訪問による教職員指導
	(2) 教職員の人事及び評価	ア 教職員人事評価の実施
		イ 「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」の推進
	(3) 円滑な学校運営の推進	ア 学校評価の活用
		イ 教職員の働き方改革の推進
		ウ 危機管理意識の醸成

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策①	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進			担当課	学校教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
学校間連携事業の回数	23回	38回	44回			30回
地域連携による体験事業の回数	71回	74回	108回			90回
2. 成果指標の分析と課題						
・新型コロナウイルスが5類に移行したことで、徐々に事業の回数が増えてきた。しかし、地域連携による体験事業はボランティア登録者の減少や高齢化が進んでおり、課題となっている。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・自治会配布文書にて、引き続きボランティア登録者の募集を行う。						

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策②	ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり			担当課	学校教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「授業がよくわかる」の評価項目で「当てはまる」(強肯定)と回答する児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)	51.0%	49.4%	46.9%			60.0%
「授業でタブレットを使って自分の考えを表現したり、友達と意見を交流をしたりした。」の評価項目で「当てはまる」(強肯定)と回答する児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)	51.7%	31.5%	22.0%			60.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・「授業がよくわかる」は少し減少しているが、5割近い児童が「強肯定」を選択している。「肯定」を含むと9割以上が授業がわかると回答しており、日々の授業は充実していると考えられる。タブレットの使用については小中学校どちらでも減少している。ICTを取り入れた授業改善が進み、活用する場面が精査されてきたことが関係していると思われる。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・令和7年度はクロームブックを小学校1年生、2年生に配布した。一人一台端末を効果的に活用する授業について、低学年においても授業研究が進むと思われる。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策③	思いやりに満ちた学校づくり			担当課	学校教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「学校が楽しい」の評価項目で「当てはまる」(強肯定)と回答する児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)【小学校】	67.2%	65.9%	66.4%			70.0%
「学校が楽しい」の評価項目で「当てはまる」(強肯定)と回答する児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)【中学校】	61.0%	59.4%	57.4%			63.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・中学校において、「肯定」を選択した割合は92.7%(R5)、92.6%(R6)と、ほとんど変化はない。小学校の「肯定」を選択した割合も93.1%(R6)と、肯定全体では小中に差は見られなかった。中学校の「強肯定」に少しずつ低下が見られる。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・子供の困り感に対してすぐに手が打てるよう、学校、市教委と連携を密に取る。						

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策④	「一人ひとりが生きる教育」の推進			担当課	学校教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「みんなで何かをするのは楽しい」の評価項目で肯定的な回答をする児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)【小学校】	96.7%	95.7%	97.2%			97.0%
「みんなで何かをするのは楽しい」の評価項目で肯定的な回答をする児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)【中学校】	95.7%	95.7%	95.8%			97.0%
「学校が楽しい」の評価項目で肯定的な回答をする外国人児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)【小学校】	93.0%	95.1%	96.1%			97.0%
「学校が楽しい」の評価項目で肯定的な回答をする外国人児童生徒の割合(学校アンケート調査結果)【中学校】	96.0%	94.6%	89.8%			97.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・「みんなで何かをするのは楽しい」が少しずつ増えている。他人との交流に重きを置く授業が浸透している結果だと思う。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・今年度クロームブックを低学年に貸与したことにより、「みんなで何かをする」学習がより広まると思われる。校内研修を通して小学校低学年にも協働的な学びを進めたい。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策⑤	こころざしを持った頼もしい教職員の育成			担当課	学校教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「学校に、信頼することができる先生がいる。」の評価項目で肯定的な回答をする児童生徒の割合(学校アンケート調査結果) 【小学校】	94.8%	93.0%	94.2%			95.0%
「学校に、信頼することができる先生がいる。」の評価項目で肯定的な回答をする児童生徒の割合(学校アンケート調査結果) 【中学校】	88.9%	88.0%	88.5%			90.0%
菊川市主催の希望研修「学び続ける教員研修会」への参加教職員の割合	61.0%	64.5%	61.0%			65.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・学校への信頼は厚く、学校と地域とのつながりは良好である。保護者や地域の声に耳を傾けてきた結果だと考える。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・保護者、子供のニーズは多様化している。担任1人で背負わず、チームで対応できる組織作りを大切にしたい。						

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	担当課	学校教育課			
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
小・中学校における理科、算数及び数学備品整備率（整備済額／国庫補助金基準額）	65.65%	66.76%	66.56%			68.00%
2. 成果指標の分析と課題						
・毎年度、補助金を利用し購入しているため、基準値を上回っている。一方で、令和6年度は使用不能な理科振興備品の多くを廃棄処分したため、令和5年度に比べて整備率は下がっている。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・引き続き、補助金を利用して理科、算数及び数学備品の整備を進める。						

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進		
施策名 (中分類)	地域・学校間連携の推進及び学校間交流の促進【①-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校政策係	
施策の目的	小・中学校の「たての接続」と学校・地域社会の「よこの連携」、「地域の財を生かした教育」を基本理念とした「学びの庭」構想を推進する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・学舎学校運営協議会を学舎ごと3回開催し、学校と地域が対等な立場として協働する「学校を核とした地域づくり」を進める。 ・学校の未来を考える会を5回開催し、本市における児童生徒数の推計を踏まえ、子どもたちに必要な教育を実現するために必要な環境及び内容を検討する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・各学舎において、年3回学校運営協議会を開催し、授業参観やアンケート結果をもとに、課題の協議や学舎の評価、各学校の評価をした。 ・学校の未来を考える会を5回開催し、児童数の減少に対応する教育の在り方について、現状の課題を共有しつつ、これからの菊川市の教育を考える意見をいただくことができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・小中一貫教育の在り方検討会を4回開催し、令和5年12月に学舎コミュニティ・スクールの手引を作成及び関係者に配布した。 ・各学舎とも2回の学舎運営協議会を開催し、各学舎で特色や強み、課題を共有し、グループ協議を行い、各学校のアンケート調査結果を報告した。		
今後の取組課題 又は改善点	・コミュニティ・スクールの導入により、より多くの地域住民の主体的な参画を得て、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進めていく必要がある。また、児童数の減少による学校の在り方については、地域の意見を聞きながら、進めていく必要がある。		

施策名 (大分類)	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進		
施策名 (中分類)	豊かな学びを支える環境づくりの推進【①-(2)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係	
施策の目的	文化的体験や、菊川市の地域の力を生かし、心身共に健全な児童・生徒を育成する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・未来の部活動在り方検討会を7回開催し、地域の実情を把握するとともに、本市の部活動の地域移行の方向性を検討し、地域移行に向けた情報発信を行う。 ・専門部会の開催及び陸上競技の休日の地域移行の試行事業を実施する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・未来の部活動在り方検討会を7回開催し、令和10年8月末にすべての種目の休日の地域展開を完了する目標を決定し、広報菊川や新入生説明会にて情報発信を行った。 ・陸上競技、剣道、卓球の専門部会を設置し、陸上競技では、アブロス菊川による休日活動の試行を実施し、検証を行った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	未来の部活動在り方検討会は臨時を含め7回開催し、スポーツ協会関係団体及び文化協会関係団体に土日の地域移行についてのアンケート調査等を実施した。また、3中学校の生徒会代表から生徒の声を聞いた。		
今後の取組課題 又は改善点	・地域展開に向けて、事務局や組織の在り方を検討する。 ・地域の指導者を広く募り、受け皿となる地域クラブの拡充を行う。 ・地域展開時の活動場所や移動方法などを明確にしていく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり		
施策名 (中分類)	魅力ある授業づくりの推進【②-(1)】		担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを推進する。情報教育機器の効果的な活用について研究を進め、楽しく、分かる授業を目指す。また、全国学力・学習状況調査の分析を基に、求められている学力や菊川市の子供の課題を明確にして授業改善に取り組む。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市内12校を指導主事が学校訪問し、授業改善支援を行う。 ・ICTを活用した授業づくり研修会を実施し、ICTを活用した授業改善を図る。 ・全国学力・学習状況調査の分析及び学力向上委員会を実施し、学力の定着を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	A A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。		
令和5年度実績評価	・市内12校を学校訪問し、指導・助言を行うことで、確かな学力の定着に向けた授業改善支援ができた。 ・「日常的なICT活用で実現する令和の学び」研修会を実施したことで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や、ICTを活用した授業づくりに活かすことができた。 ・全国学力・学習状況調査の分析を行い、学力向上対策委員会を開催したことで、本市における学力の検証や課題の明確化が図られた。		
今後の取組課題 又は改善点	・ICTの活用については、学校差や職員差が見られるので、教職員一人一人が菊川市のICT環境を生かして授業づくりが推進されるよう、働きかけをしていく。		

施策名 (大分類)	ICT環境を生かした魅力ある授業づくり	
施策名 (中分類)	GIGAスクール構想の推進【②-(2)】	担当課・係 学校教育課 ICT推進係
施策の目的	情報教育機器を効果的に活用し、一人ひとりに「確かな学力」をつけるため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを推進する。また、校務支援システム等を活用して、教職員の働き方改革を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市内小学校6校(六郷小、内田小、横地小、加茂小、堀之内小、河城小)における無線LANの機器更新及び増設を行う。 ・ICT推進委員会を5回実施し、本市におけるICT活用の方向性を共有する。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	・市内小学校6校(六郷小、内田小、横地小、加茂小、堀之内小、河城小)における無線LANの機器更新及び増設を行い、校内ネットワーク環境を改善することができた。 ・ICT推進委員会を年5回実施したことで、市としてのICT活用の方向性の共有や、授業における有効的なICT機器の活用方法を検証することができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	・市内小中学校6校(小笠東小、小笠南小、小笠北小、岳洋中、菊川西中、菊川東中)における無線LANの機器更新及び増設を行うことで、校内のネットワーク環境を改善することができた。 ・ICT推進委員会を年3回実施したことで、市としてのICT活用の方向性の共有や、授業における有効的なICT機器の活用方法を検証することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	・令和5年度から令和6年度で、全校の無線LAN更新が完了した。 ・R6から開催回数を増やしたため、引き続き、会議を通じて、情報共有やICT機器活用方法の検証をすすめていく。	

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり		
施策名 (中分類)	魅力ある学校づくり【③-(1)】		担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	思いやりに満ちた学校づくりを進めるために、人権教育や福祉教育の実践を進め、いじめのない学校経営を推進する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・魅力ある学校づくり研修会を3回実施するとともに、年間3回の子どもの意識調査を活用した教育活動の見直しを行い、明日も登校したい学校づくりに努める。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・魅力ある学校づくり研修会を年3回実施した。不登校対策において未然防止と初期対応が重要であることを各学校担当者と再確認した。各小中学校の取組を共有するとともに、学校職員への理念の浸透方法や生徒指導担当としての役割について確認した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	魅力ある学校づくり研修会を年3回実施した。不登校対策において未然防止と初期対応が重要であることを各学校担当者と再確認した。各小中学校の取組を共有するとともに、PDCA サイクルを意識して次年度へ向けた取組を計画した。		
今後の取組課題 又は改善点	・生徒指導担当だけでなく研修主任にも魅力ある学校づくりについて共通理解を図り、発達支持的生徒指導を意識した授業づくりを行う。		

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり		
施策名 (中分類)	「心の教育」の推進【③-(2)】	担当課・係	
		学校教育課 学校指導係	
施策の目的	近年、全国的に発生件数が増加しているいじめの重大事案に対し、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ防止対策を推進する。また、人権教育、福祉教育の実践や考える道德の推進により、「心の教育」を推進する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会を各2回実施し、いじめの重大事案に迅速かつ組織的に対応できるよう、いじめの防止等に関係する機関及び団体との連絡調整、情報交換を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会を各2回ずつ実施した。それぞれの会で菊川市の不登校の現状を周知するとともに、条例の制定内容を共通理解した。教職員へのアンケートの実施や菊川市しあわせ宣言など、いじめ防止に向けた取組について意見をいただいた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会を各1回ずつ実施した。それぞれの会で菊川市の不登校の現状を周知するとともに、条例の制定内容を共通理解した。		
今後の取組課題 又は改善点	・いじめ問題対策連絡協議会で出た意見や協議内容を、生徒指導連絡協議会で伝えるなど、効果的に活用していく。 ・いじめ問題調査委員会では、実際に重大事態が発生した際に、どのように調査を行うのか、具体的な動きを確認する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	思いやりに満ちた学校づくり		
施策名 (中分類)	児童・生徒の心に寄り添う支援【③-(3)】	担当課・係	
		学校教育課 学校指導係・学校政策係	
施策の目的	一人ひとりに寄り添った支援を推進する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・教育支援センター「このゆびと～まれ」の運営や心の教室相談員を市内3中学校に配置することで、学校生活の悩みや登校に不安がある子どもの支援を行う。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・教育支援センターにおいては、1日の平均来室人数は8人程度であったが、多いときには、14人が利用する日もあった。また、15件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者に寄り添った支援を行った。市内3中学校の心の教室相談員と年間2回のオンライン研修を行い、各校の課題や運営方法について情報共有を行った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	教育支援センターにおいては、定期的に 19 人の児童生徒が利用した。また、17 件の教育相談を受け、児童・生徒・保護者にとって、気軽に相談できる場であった。市内3中学校に心の教室相談員を配置し、各校において生徒の相談にのったり、別室登校の生徒への対応をしたりするなどした。		
今後の取組課題 又は改善点	・利用児童生徒に対して、教育支援センター、学校、家庭と連携して支援を行う。		

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進		
施策名 (中分類)	特別支援教育の推進【④-(1)】	担当課・係	
		学校教育課 学校指導係	
施策の目的	育児や発育に対して支援の必要な全ての子供のために、個を大切にした教育をさらに推進し、心の教育を充実させて、「一人ひとりが生きる教育」を進めていく。各園・学校における体制整備及び関係部局や機関の連携協力を図り、教育・医療・保健・福祉・労働との連携を強化し、乳幼児期から就労に至るまでの一貫した支援体制を整備する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・就学支援委員会を5回開催し、心身に障害を有する児童生徒の就学に関する審議を行う。 ・巡回相談員による巡回相談の実施、学級・学校支援員の配置、特別支援コーディネーター研修会等の実施により、特別な支援を必要とする児童生徒の指導及び支援の充実を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・就学支援委員会を5回開催し、就学に関する審議を行った。また、小中学校全12校に2回ずつ相談員による巡回相談を行った。特別支援教育コーディネーター研修会は2回開催し、特別な支援を必要とする児童生徒支援についての講義やグループワークを行った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	就学支援委員会を5回開催し、対象幼児・児童・生徒の次年度の就学先について審議を行った。巡回相談員による巡回相談は各校2回、計12回行い、特別な支援を必要とする児童生徒の支援・指導の方法等についての助言をした。また、各校でより良い支援・指導ができるよう、特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援教育研修会、支援員等研修会を行った。		
今後の取組課題 又は改善点	・就学支援委員会の審議数が増えており、回数や方法について検討する必要がある。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進		
施策名 (中分類)	外国人児童生徒への教育支援【④-(2)】		担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	外国人児童生徒の在籍する学校に支援員を配置し、日本語指導とともに学習・生活支援を行い、校内での学習や学校生活が円滑に進むようにする。「学校が楽しい」と答える児童生徒を90%以上とする。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・3市で「虹の架け橋」の運営を委託し、外国人児童生徒への日本語初期指導を実施する。 ・外国人支援員を配置し、日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対する日常生活及び学習指導や保護者への通訳を行う。 ・外国人担当者研修会を実施し、指導に当たる教職員の資質向上を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	「虹の架け橋」での日本語初期指導を実施し、小笠地区3市の小中学校に32人が編入した。菊川市の小中学校には18人の児童生徒が編入した。また、各校の外国人児童生徒担当や支援員等を対象とした外国人児童生徒担当者研修会を開催し、講師による講義やグループワークを行った。		
今後の取組課題 又は改善点	・外国人児童生徒の編入が増加する中、児童生徒への支援体制や教職員・支援員等への研修をさらに充実させるとともに、外国人支援員の配置も検討する必要がある。		

施策名 (大分類)	「一人ひとりが生きる教育」の推進		
施策名 (中分類)	安全教育の充実【④-(3)】	担当課・係	
		学校教育課 学校指導係・学校政策係	
施策の目的	安心して学校に通える環境づくりを進めるために、学校の危機管理体制の向上を図り、児童生徒の安全意識を高める。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・学校安全総合支援事業を活用し、防災教育等の推進を図る。 ・菊川警察署による防犯教室、県くらし安全課主催の子どもの体験型防犯講座、通学路安全点検及び通学路安全対策検討会を実施し、児童生徒の安全意識の向上及び安全確保を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・学校安全総合支援事業を活用し、11月に菊川東中学校及び岳洋中学校において釜石東中学校元副校長の村上洋子氏による防災教育講演会を開催し、中学生の防災意識の向上を図った。また常葉大学木宮教授を招いて、学校防災マニュアルにおける項目を統一することができた。 ・全小中学校において、通学路安全点検を行い、それを基に通学路安全対策検討委員会を開催し、教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し、対策を実施した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	学校の通学路安全点検体制の整備として、①常葉大学木宮教授を招いて交通安全対策の講話を開催、②実際の通学路点検に木宮教授に同行いただき交通安全の助言、③実際に点検した通学路箇所をデジタルマップとして市ホームページに公開、④統一した通学路点検マニュアルの作成を実施した。		
今後の取組課題 又は改善点	・毎年通学路点検を実施するが、対策の進捗状況を確認する必要があるため、合同点検の数か月後に関係機関で集まり、学校へ再周知する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	
施策名 (中分類)	教職員の育成指導【⑤-(1)】	担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	児童生徒、保護者や地域から信頼される教職員を育成するために、各種研修会を開催するとともに、学校訪問による教職員指導を実施する。（「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合、小学校91%中学校85%以上を目指す。）	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・学び続ける教員研修を実施し、教職員の視野を広めたり、総合的な資質を高める。 ・初任者研等の経年研修や、教頭、研修主任、教務主任等の役職研修を実施し、頼もしい教員の育成を図る。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	・令和6年度の参加者は令和5年度を上回った。開催枠を一つ減らしたが、参加者の希望をできる限り尊重したことにより、研修への参加に主体性を持たせることができた。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	学び続ける教員研修では、7割を超える教職員が自主的に参加をし、積極的に取り組むことができた。更に、教職員が自ら講座を開催し、自分の実践を広める活動ができた。 経年研修や役職研修については、年間を通して計画的に実施することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	・教職員のニーズに合わせた講座を用意していく。ICT関係の講座では教職員の理解度や技術力にも差が出る。教職員に対してもだれひとり取りこぼさないような研修を目指す。	

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成		
施策名 (中分類)	教職員の人事及び評価【⑤-(2)】		担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	新たな人事評価により、教職員の前向きな取り組みを促し、資質能力の向上や組織の活性化につなげる。また、教職員免許更新制度を利用し、教職員の指導力向上に努める。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・教職員人事評価における自己目標シート及び職務評価シートの活用並びに管理職による面談を実施し、教職員の資質や意欲の向上及び職場の活性化を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・年度始めに管理職による面談を実施し、年度末にも二度目の校長面談を実施することで、適正な評価を行うことができた。職員は教職員育成指標を活用し、自己のキャリアを見据えて、適切な目標設定と自己評価ができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	市内全ての学校において管理職による面談を実施し、教職員の思いを聞いたりフィードバックを丁寧に行ったりすることで、支援・指導につなげることができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・人事評価をととして、日常的に自分のキャリアステージに照らした働き方ができるようにしたい。静岡県教職員育成指標を活用する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	こころざしを持った頼もしい教職員の育成		
施策名 (中分類)	円滑な学校運営の推進【⑤-(3)】		担当課・係 学校教育課 学校指導係
施策の目的	学校評価を活用するとともに、地域との連携を密にすることにより、円滑な学校運営を推進し、地域から信頼される学校経営を実施する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・各校で学校評価を実施し、学校運営改善に活かすとともに、評価結果を学校だよりやホームページ等により公開する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・全小中学校において各学校の経営方針や重点的な活動について、学校職員・児童生徒・保護者の3者での学校評価を年2回行った。評価結果については、学校だよりとして保護者・地域に発信するとともに全校ホームページで公開した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	全小中学校において保護者、児童生徒、学校職員で年間2回学校評価を行った。その評価結果を学校だよりやホームページで発信したり、学校評議員会で活用したりして学校運営に生かした。		
今後の取組課題 又は改善点	・PDCAサイクルを生かすために、効果的に評価結果を利用する。評価結果は教育課程に反映し、地域や子供の実態に合った学校運営を行う。		

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	2 「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進【学校教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
⑥ 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化 (教育総務課)	(1) 学校施設の適正な維持管理	ア 法定点検の実施 イ 施設に関する保守業務委託の実施
	(2) 学校施設整備	ア 国庫補助事業の実施(耐震化、屋内運動場におけるLED照明への取替)
		イ 県費補助事業の実施(学校における飛散防止フィルムの張替)
		ウ 市単独事業の実施(学校要望事業等の実施)
⑦ 安全で安心して教育が受けられる環境づくり (教育総務課)	(1) 教室環境の整備	ア 児童生徒用の机椅子の更新 イ 教材備品の整備
	(2) 家庭への支援	ア 就学援助事業の実施
		イ 特別支援教育就学奨励事業の実施
⑧ 安全でおいしい給食の安定的な提供 (教育総務課)	(1) 安心・安全なおいしい給食作りの実施	ア 給食献立作り及び使用食材の発注 イ 食物アレルギーへの対応 ウ 民間委託による安定した調理業務の実施
	(2) 食育及び地産地消の推進	ア 栄養教諭等による食育指導の実施 イ ふるさと給食週間等の実施による地産地消の推進
		ア 給食食数管理及び給食会計処理の実施 イ 給食センター施設の維持管理及び機器等更新の実施
	(3) 安定した給食業務の実施	

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策⑥	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化			担当課	教育総務課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
学校施設の耐震化率	96.2%	98.1%	98.1%			100.0%
屋内運動場におけるLED照明設置率	16.7%	33.4%	58.3%			100.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・学校施設の耐震化については菊川市が所有する公共建築物の耐震性能リスト(教育委員会)に掲載している53施設の内、1施設が耐震性がやや劣る建物を有している旨を記載しているが、現状使用していないため、実質的には完了している。屋内運動場におけるLED照明設置については、R6年度に7校に実施済みであり、今後も計画的に進めていく。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・学校施設の耐震化については、対象の1棟の建物取り壊し等について検討していく。LED化については内田、六郷、河城、菊川東中に設置済みで、R6は横地、岳洋中、菊川西中に設置した。次年度に残り5校に設置予定であるため、R7年度末に成果達成する予定である。						

基本方針2	「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進					
重点施策⑧	安全でおいしい給食の安定的な提供			担当課	教育総務課	
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
学校給食の残食率	4.73%	5.72%	6.46%			4.00%
学校給食における地場産物の使用率	43.81%	41.29%	39.99%			46.00%
2. 成果指標の分析と課題						
・残食率は増加傾向があり、黙食・おかわり制限といった習慣、給食を無理に食べさせない学校指導方針、カロリーへの懸念、食の嗜好の偏りが影響している。 ・地産地消率は減少傾向があり、近年の異常気象でまとまった量の県内産の食材が入手しにくいことや物価高騰から安定した価格を求めた結果、他県産の食材を使用せざるを得ない状況等が影響している。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・残食率の増加を抑制するため、食べやすいように工夫した献立作りを実施するとともに、学校と連携しながら食の指導を実施していく。また、ふれあい給食などを通じて、こども達が給食への感謝を感じられるようにしていく。 ・地産地消率の減少を抑制するため、ふるさと給食週間に地元産の食材を積極的に活用し、地産地消会議等を通じて市場の価格や供給量を把握しながら、地場産使用率を高めるように努めていく。						

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化		
施策名 (中分類)	学校施設の適正な維持管理 【⑥-(1)】	担当課・係	
		教育総務課 施設係	
施策の目的	小・中学校の教育活動が支障なく行われるよう、学校教育環境の計画的な整備を実施する。また、学校環境を良好な状態に保つため、施設や設備の適切な維持管理を実施する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・小中学校の施設及び設備の適切な維持管理、法定点検、改修を実施し、施設及び設備の長寿命化及び安全で快適な教育環境の確保を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・建物の定期点検、エレベーター及びダムウェーダーの点検等に加え、施設の破損や劣化に対する簡易的な改修を行うことで、安全で快適な教育環境の確保した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	計画的かつ効率的な発注を実施、児童生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、小笠北小学校、河城小学校及び岳洋中学校において、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。		
今後の取組課題 又は改善点	・法定点検や営繕により、学校運営上の問題は無いが、設置年数の観点等から経年劣化等による不具合が発生することを想定した対策も必要となる。		

施策名 (大分類)	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化		
施策名 (中分類)	学校施設整備 【⑥－(2)】	担当課・係	
		教育総務課 施設係	
施策の目的	耐震力がやや劣る校舎の耐震補強に併せ、トイレの洋式化やLED照明への改修を実施し、良好な教育環境の確保に努める。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・国庫補助を活用し、横地小学校、岳洋中学校及び菊川西中学校における屋内運動場の照明取替工事(LED化)及びトイレの洋式化工事を実施する。 ・県費補助を活用し、小笠東小学校及び菊川東中学校の経年劣化したガラス飛散フィルムの張替工事を実施する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・国庫補助を活用し、横地小学校、岳洋中学校及び菊川西中学校における屋内運動場の照明取替工事(LED化)及びトイレの洋式化工事を実施したことで、教育環境の改善が図られた。 ・小笠北小学校、河城小学校及び岳洋中学校において、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全化が図られた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・六郷小学校昇降口棟の耐震補強及び屋上防水改修工事を実施したことにより、安全・安心な教育環境が確保できた。 ・河城小学校及び菊川東中学校における校舎への多機能トイレ設置、屋内運動場における照明取替工事(LED化)及びトイレ洋式化工事を実施したことにより、良好な教育環境が確保できた。		
今後の取組課題 又は改善点	・図書室、理科室、音楽室等、使用頻度の高い特別教室及び体育館への空調設備設置やLED化、トイレの洋式化についても、計画的に進めていく必要がある。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	安全で安心して教育が受けられる環境づくり		
施策名 (中分類)	教室環境の整備 【⑦－(1)】		担当課・係
			教育総務課 施設係・学校教育課 学校政策係
施策の目的	児童生徒が健やかに伸びていく学校環境の充実に向け、教育課程に基づいた授業等に 必要な教材備品等を効率的に購入する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・児童生徒用の机及び椅子、学校要望による教材備品等の整備を行うことで、教育環境を 良好に保ち、学校教育の円滑化を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・児童生徒用の机や椅子について各学校に必要な数を集計、購入及び納入し、また各学校におい て必要となる教材備品を整備したことで、教育環境を良好に保つことができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	教育環境を良好に保ち、円滑な学校教育を推進するため、机椅子等の必要な備品の整 備を行った。屋内運動場におけるLED照明への取替工事の整備スケジュールは、令和6 年度に3校実施し、令和7年度に5校実施することで、全校を完了する方針を決定した。		
今後の取組課題 又は改善点	・学校によって児童生徒数の増減にばらつきがあるため、机や椅子の納入数について臨 機応変に対応する必要がある。		

施策名 (大分類)	安全で安心して教育が受けられる環境づくり		
施策名 (中分類)	家庭への支援 【⑦-(2)】	担当課・係	
		教育総務課 総務係	
施策の目的	学校教育の機会均等の精神に基づき、経済的理由等により就学が困難な家庭に対し、学用品費や通学用品費、学校給食費などを援助し、保護者の経済的な負担軽減及び円滑な就学を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することで、保護者の経済的な負担軽減及び円滑な就学を図る。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給することで、保護者の経済的な負担軽減及び特別支援教育の普及奨励を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・就学援助費の支給額は前年度実績と比較して2,822千円の増(R5:20,276千円、R6:23,098千円)、支給対象者は2名の増(R5:272名、R6:274名)となり、保護者の経済的負担の軽減及び円滑な就学を図ることができた。 ・特別支援教育就学奨励費の支給額は前年度実績と比較して78千円の増(R5:5,688千円、R6:5,766千円)、支給対象者は2名の増(R5:147名、R6:149名)となり、保護者の経済的負担の軽減及び特別支援教育の普及奨励を図ることができた。		
	A	A:十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B:一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C:十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	就学援助費については、支給対象者272名(R4:236名、36名増)に対し、就学に必要な費用の一部を援助することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、円滑な就学を図ることができた。 また、特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の内、支給対象者141名(R4:119名、22名増)に対し、就学に必要な費用の一部を支援することで、保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の普及奨励を図ることができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・市ホームページや就学時健康診断の案内通知への資料同封、各小中学校におけるPTA総会などでの資料配布等により、引き続き制度の周知に努める。 ・国の標準仕様書に基づく「就学支援システム」の導入作業を進める。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供		
施策名 (中分類)	安心・安全なおいしい給食作りの実施【⑧-(1)】		担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	学校給食における衛生管理体制を徹底し、児童生徒に安心安全なおいしい給食を提供する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・安全安心で栄養バランスの整ったおいしい給食が提供できるように、民間委託による給食調理及び配送業務を行い、給食残食率を4.0%以下とする。 ・食物アレルギーを持つ児童生徒の給食について、栄養担当職員及び委託先の栄養士と情報を共有し、適正な除去食を提供する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・安全安心で栄養バランスの整った給食提供は出来たが、給食残食率6.46%となり、目標の4.0%以下を達成することができなかった。 ・食物アレルギー対応マニュアルに基づき、適正な除去食を提供することができた。		
	C	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、給食の食べ方や配膳方法が変わった影響が続いており、それらが残食率の増加(令和5年度残食率5.72%)へ繋がり、目標の4.0%以下を達成することができなかった。給食センターの調理・配送等の民間委託についてプロポーザル方式による選定を行い、令和6年度以降の委託業者を決定することができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・残食率の増加を抑制するため、食べやすいように工夫した献立作りを実施するとともに、学校と連携しながら食の指導を実施していく。また、ふれあい給食などを通じて、こども達が給食への感謝を感じられるようにしていく。		

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供	
施策名 (中分類)	食育及び地産地消の推進【⑧-(2)】	担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	学校給食を通じて成長期にある児童生徒が、望ましい食生活の形成や好ましい人間関係の育成が図られることを目的に、食育推進事業を進めていく。また、安心安全で新鮮な食材となる地場産品の給食への使用拡大を図り、食育推進に繋げていく。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・栄養教諭による食育に関する指導を実施し、児童生徒が「食に関する知識」、「食を選択する力」、「望ましい食習慣」を身に付けられるように努める。 ・「ふるさと給食週間」を3回実施し、毎月19日から23日にかけて「ふるさと給食」を実施するとともに、地産地消推進会議を2回実施することで、給食への地場産品の使用拡大を図る。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	A	・小中学校等と連携し、栄養教諭による「食に関する指導」が実施できた。 ・「ふるさと給食週間」を年に3回実施し、毎月「ふじのくに地産地消の日」である23日を中心に地元食材を活用したメニューを1品提供するとともに、地産地消推進会議を年2回実施できた。 A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養教諭による「食に関する指導」を実施することができた。また、「ふるさと給食週間」を年に3回実施し、毎月「ふじのくに地産地消の日」である23日を中心に地元食材を活用したメニューを1品提供するとともに、地産地消推進会議を年2回実施することができた。	
今後の取組課題 又は改善点	・引き続き、小中学校と連携しながら「食に関する指導」を実施し、「ふるさと給食週間」などを活用し、地場産品の使用拡大を図っていく。	

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	安全でおいしい給食の安定的な提供		
施策名 (中分類)	安定した給食業務の実施 【⑧-(3)】		担当課・係 教育総務課 給食センター係
施策の目的	安心安全な学校給食作りを推進するために、安定した給食業務(給食食数の管理、給食会計、施設の維持管理等)の実施を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・学校給食センター運営委員会を2回実施し、給食実施回数や給食費の額等の意見を聴く。 ・給食費未納者に対して徴収を働きかけ、収納率の向上を図る。 ・給食センター施設及び設備の適切な維持管理、法定点検、改修を実施するとともに、老朽化した給食用機器及び備品等を計画的に更新することで、安心安全な給食の安定的供給を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・学校給食センター運営委員会を2回実施し、給食実施回数や給食費の額等の意見を聴くことができた。 ・給食費未納者に対して徴収を働きかけ、収納率99.95%(R7.5.31時点)とすることができた。 ・給食センター施設及び設備の適切な維持管理、法定点検、改修を実施するとともに、老朽化した給食用機器及び備品等を計画的に更新することで、安心安全な給食の安定的供給を図ることができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	学校給食センター運営委員会を年2回実施し、給食に関する各種意見を聴取することができた。 小中学校等と連携し、給食費未納者に対して徴収を働きかけた結果、本年度(5月14日時点)は99.94%とすることができた。また、委託業者と情報共有しながら給食調理器具、食器洗浄機、付属施設等の維持管理を適正に行うとともに、劣化の激しい給食用備等品を計画的に更新することができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・学校給食センター運営委員会を実施し、給食実施回数や給食費の額について意見をまとめる。 ・給食費について、収納率99.95%以上となるように適正に徴収業務を行っていく。 ・給食センター施設の蒸気ボイラー及び蒸気配管更新工事について滞りなく適正に工事完了していく。		

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
① 地域で子どもを守り育てる活動の推進 (社会教育課)	(1) 住民主導による子どもの健やかな成長を育む組織づくり	ア 青少年健全育成市民会議活動の推進
		イ 青少年街頭生活指導の実施
		ウ 菊川市子ども会連合会等の青少年団体の支援
	(2) 地域と学校の連携	ア 社会教育委員による地域連携活動の推進
		イ 中学生ふるさと未来塾の実施
	(3) 豊かな感性と社会性を育む活動の推進	ア ボランティア体験活動支援センターの運営
		イ 活動級別認定の実施及び表彰
	(4) 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進	ア ときどきフェスティバルの開催
		イ 小谷村地域間交流体験教室の開催
		ウ はたちの集いの開催
	(5) 新・放課後子ども総合プランの推進	ア 放課後子ども教室の実施
		イ 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携
② 家庭の教育力向上 (社会教育課)	(1) 家庭教育の推進	ア 家庭教育学級の開設委託
		イ 家庭教育支援員の派遣・推薦
③ 生涯学習活動の推進 (社会教育課)	(1) 生涯学習活動の推進	ア 生涯学習情報の提供
		イ 生涯学習推進研修会の開催
		ウ 生涯学習講座の開催及び講座内容の見直し
④ 鑑賞機会の提供 (社会教育課)	(1) アエル指定管理者との連携	ア 芸術文化振興事業の委託
		イ 文化会館アエル運営委員会の開催
	(2) アエルの計画的な施設の改修	ア 設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託の実施
⑤ 市民の文化・芸術活動への支援 (社会教育課)	(1) 文化芸術活動の振興	ア 文化祭、絵画コンクール、書き初め展の開催委託
		イ 文化協会活動の支援、ゆかいな体験講座の実施
		ウ 芸術文化大会等への出場者(団体)の顕彰
		エ 文芸誌の編集・刊行
	(2) 中央公民館の管理・運営	ア 公民館施設の維持管理
		イ 公民館施設の貸出
	(3) 文化振興計画の推進	ア 文化振興計画推進委員会の開催
		イ 地域資源を生かした文化資源交流事業の実施

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
⑥ 文化財の保存・周知・活用 (社会教育課)	(1) 文化財の保護	ア 文化財保護審議会の開催
		イ 国指定文化財等の維持管理及び整備
		ウ 文化財防火訓練の実施
	(2) 文化・顕彰活動支援	ア 指定無形民俗文化財の伝承及び活用に対する補助
		イ 地域文化財活動団体への支援
		ウ 関口隆吉氏顕彰事業
	(3) 文化財の活用	ア 黒田家代官屋敷資料館の運営
		イ 街道画及び埋蔵文化財等の展示・活用
		ウ 埋蔵文化財センターの運営・管理
		エ 塩の道公園の管理及び活用
	(4) 史跡の管理・活用	オ 歴史検定事業の実施
		ア 史跡菊川城館遺跡群整備委員会の開催
	(5) 開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理	イ 史跡菊川城館遺跡群整備の実施
		ア 周知の埋蔵文化財包蔵地の新規登録、範囲変更及び調査履歴等の更新
		イ 各種開発による試掘・確認調査の実施
		ウ 発掘調査の実施、発掘調査報告書の刊行
⑦ 誰もがスポーツに触れ合う機会の創出 (社会教育課)	(1) 子どものスポーツ活動の充実	ア 楽しく体を動かす機会の提供
	(2) 青年期・壮年期のスポーツ活動の充実	ア 市スポーツ協会所属団体の活動推進
		イ 親子でできるスポーツイベントの開催
	(3) 高齢期のスポーツ活動の充実	ア 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催
	(4) 障がい者のスポーツの推進	ア パラスポーツを取り入れたイベントの開催や情報提供
	(5) 健康な体づくりにつながるスポーツの推進	ア ウォーキングを楽しむことのできる環境の整備
		イ サイクリングによる健康づくり
	(6) 誰もが取り組めるスポーツイベントの開催	ア スポーツレクリエーションフェスティバルの開催
	(7) スポーツ情報の内容拡充	ア スポーツ情報の情報発信
	(8) 関係部署、民間事業者との取り組み	ア 民間事業者との連携によるスポーツ振興
	(9) 定期的なニーズ把握による新たな教室等企画の取り組み	ア 定期的なニーズ把握による、時代に即した教室の開催

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
⑧ スポーツ団体・スポーツ活動への支援 (社会教育課)	(1) スポーツグループ・クラブの自立支援	ア 菊川市スポーツ協会事業との連携
		イ 菊川市スポーツ少年団員の確保
		ウ 中学生運動部活動の地域スポーツ活動への移行の検討
	(2) スポーツ団体の交流と情報交換	ア 地域や地元出身の選手、チームが出場するスポーツ大会の応援企画
	(3) 総合型地域スポーツクラブの充実	ア 人材の育成と会員確保、組織の拡大
	(4) アスリートの育成支援	ア 民間スポーツ団体等との連携
イ 全国大会等に出場する選手への奨励金交付と激励会の実施		
⑨ スポーツ活動の場の提供 (社会教育課)	(1) スポーツを通じた地域づくり	ア コミュニティ協議会との連携
		イ スポーツ推進委員の資質向上
	(2) スポーツボランティアの育成と活動支援	ア スポーツボランティアの機会の創出
	(3) スポーツ施設の維持・管理・改善	ア スポーツ施設の整備・改修
		イ 指定管理者との連携による体育施設の管理運営
		ウ 施設予約システムの利便性向上

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策①	地域で子どもを守り育てる活動の推進			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う」と回答する市民の割合(市民アンケート調査結果)	71.0%	68.4%	64.3%			82.0%
菊川市ボランティアクラブ登録者数	178人	233人	255人			350人
2. 成果指標の分析と課題						
・コロナ禍を経て、小学生の参加を再開した事により登録者数は増加傾向にあるが、ボランティア希望者と受入施設とのマッチング作業が繁雑となっている。 ・多くの希望者にボランティアに取り組んで貰うためにも、効率的なマッチング作業が必要となっている。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・ボランティアの受入施設と参加希望者のマッチング作業を行うシステムの導入に向け、導入のメリットとデメリットの整理を行う。						

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策②	家庭の教育力向上			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
家庭教育支援員の活動回数	7回/年	6回/年	7回/年			16回/年
2. 成果指標の分析と課題						
・共働きの家庭が多く保護者が集まる機会が減少している。 ・支援員の活動内容は巡回訪問4学級と希望3学級であった。希望する学級が決まっており、新たに希望する学級が少ない事から、これまで以上に支援員活動への理解を深めて行く必要が有ると考える。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・家庭教育や支援員活動への理解を深めるため、家庭教育の重要性や具体的な取組みを考え、周知して行く。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策③	生涯学習活動の推進			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
生涯学習講座の参加者数	230人	259人	263人			600人
「生涯にわたり学習活動ができるまちだと思う」と回答する市民の割合 (市民アンケート調査結果)	52.6%	52.3%	51.3%			62.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・ステップアップ講座10回シリーズ講座を12種、5回シリーズ講座を6種、1回講座を10種企画・運営したことで、コロナ禍から申込者数、参加者数が伸びている。 ・参加者数の増加を図るためには講座数の増加が必要であるが、受講者対応や講座運営の事務量が繁雑であり、講座数増加は困難な状況にある。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・参加者を増加させる取組みとしては、講座数を維持しつつ、広い会場で行われる運動系の講座や講演会型の講座などを企画して行く。 ・講座と受講希望者のマッチング作業を行うシステムの導入に向け、導入のメリットとデメリットの整理を行う。						

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策④	鑑賞機会の提供			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
菊川文化会館アエルの入場者数	72,229人	116,912人	111,650人			137,000人
2. 成果指標の分析と課題						
・アエルへの入場者数は増加傾向にある。引続き、目標となる137,000人(H31利用人数)に向けて、各種事業を企画、実施して行く。 ・事業を継続して実施するため、経年劣化する施設について、計画的な更新が必要。 ・物価上昇に伴う各種経費の上昇が施設の管理・運営に影響している。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・アエルを活用した魅力ある事業の企画・開催については、今後も指定管理者との協議を継続して行く。 ・施設設備の状態については、定期点検や臨時点検を継続して実施して行く。また、更新が必要な設備は、計画的な更新を行う。 ・施設の適切な管理運営を維持するため、必要な支援を継続して行く。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑤	市民の文化・芸術活動への支援			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
菊川市文化祭への来場者数	1,563人	1,488人	1,379人			4,000人
「気軽に芸術文化にふれられるまちだと思う」と回答する市民の割合(市民アンケート調査結果)	42.8%	44.0%	41.0%			54.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・文化祭への来場者数は減少傾向にあるが、要因としては文化協会会員と登録団体の減少や各登録団体の会員の高齢化により、団体に関係する人数が減少した事によると考えられる。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・今後は市民が活動内容を知り、興味を持ち、活動に参加する事を促すため、各登録団体がそれぞれの活動内容を外部に向けて情報発信する事や活動の体験会等を開催する事に取り組む。また、市の文化振興に関する気運の醸成を図るため、登録団体相互の交流や情報交換を企画・開催して行く。						

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑥	文化財の保存・周知・活用			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「歴史・文化遺産が継承され活かされているまちだと思う」と回答する市民の割合(市民アンケート調査結果)	49.9%	50.6%	48.2%			56.0%
代官屋敷資料館の入館者数	1,406人	1,177人	1,155人			2,000人
2. 成果指標の分析と課題						
・文化財ウォーク「虚空蔵山と秋葉灯籠を巡る」を開催したほか、令和6年度は市制20周年記念事業として「菊川歴史検定(2級)」を開催するなど、市民が地域の歴史や文化財に触れる機会を創出したが、アンケート結果は数値が減少している。 ・代官屋敷資料館の入館者は、梅まつり期間中に入館者数が減ったため、昨年度より減少している。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・菊川歴史検定や文化財ウォークの開催、埋蔵文化財センター公式Xやどきどき通信などを通じて、市民に対し、地域の文化財の魅力を伝えていく。 ・代官屋敷資料館の展示品の入れ替えを行い、周知を強化することで入館者の増加に努める。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑦	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
「健康づくりに取り組む人が増えていると思う」と回答する市民の割合(市民アンケート調査結果)	64.4%	61.5%	60.3%			70.0%
「気軽にスポーツやレクリエーション活動ができる環境が整っていると思う」と回答する市民の割合(市民アンケート調査結果)	50.4%	49.7%	51.7%			60.0%
2. 成果指標の分析と課題						
・2つの指標について、目標値にはまだまだ厳しい状況である。 ・令和4年度の調査においても、スポーツを行わなかった理由として「仕事や家事が忙しい」との意見が多く、誰もが手軽に行えるようなきかけづくりや環境づくりが必要である。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・個々の年齢や生活環境に応じた運動習慣を身につけていただけるよう、スポーツ推進委員や健康づくり推進委員との連携した事業に取り組んでいく。						

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑧	スポーツ団体・スポーツ活動への支援			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
市スポーツ協会、スポーツ少年団の加入者数	2,090人	2,078人	1,990人			2,900人
2. 成果指標の分析と課題						
・菊川市スポーツ協会・スポーツ少年団の加入人数は、前年度と比べ減少した。少子化により、スポーツ少年団でも特に野球の人数が少なくなっており、地区を超えての合同チームを編成していく必要がある。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・少子高齢化や人口減少、多様性などの社会状況の変化を捉え、指導者育成や会員の確保、組織運営について検討が必要である。また、中学生部活動の地域展開を契機と捉え、各団体と中学生と一緒に活動できる体制を検討していく。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑨	スポーツ活動の場の提供			担当課	社会教育課	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
市営スポーツ施設及び一般開放を行う学校体育施設年間利用者数(延べ)	293,055人	379,232人	366,343人			300,000人
2. 成果指標の分析と課題						
・スポーツ施設では、工事の影響も減ったことから利用者はコロナ禍前に戻ってきている。令和7年度からは、堀之内体育館の建替えが予定されていることから、利用者へ周知していく必要がある。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・学校体育館及び市立3体育館・体育施設を付帯する都市公園に係る指定管理により、各施設の適正な管理に努めていく。 ・令和7年度は和田公園多目的広場のLED化工事及び和田公園トイレ建替え工事をおこなうため、指定管理者であるスポーツ協会グループと情報を共有していく。						

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる	
施策名 (中分類)	住民主導による子どもの健やかな成長を育む 組織づくり【①ー(1)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	青少年の健全育成や非行等の問題行動防止に向け、支部の青少年健全育成会活動を通じて、家庭、学校、地域住民など、地域社会と行政(関係機関)がそれぞれの役割と責任を担いつつ相互に協力し、「地域の青少年は地域で安全に守り育てる」を柱とした健全育成事業を推進する。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・青少年健全育成市民会議活動及び青少年街頭生活指導を実施し、「地域の青少年は地域で守り育てる」意識の向上を図る。 ・市子ども会連合会等の青少年活動団体への支援を行い、青少年の健全育成や交流を図る。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	A A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・地域・家庭・学校が連携して子ども達の健やかな成長を育むとともに、青少年に係わる事件や事故を未然に防ぐことを目的に、JR菊川駅前での啓発活動(青少年の非行・被害防止強調月間街頭キャンペーン、7月4日)と街頭生活指導を実施した。(夏季7月20日、冬季12月14日) ・菊川市子ども会連合会による「未来レター事業」と「スポーツリズムトレーニング体験・防災対策体験事業」の実施を支援した。	
今後の取組課題 又は改善点	・団体が取組む事業については、関係機関との連携や支援を継続する。また、子ども会連合会が実施する事業への支援も継続する。	

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる		
施策名 (中分類)	地域と学校の連携【①ー(2)】		担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	地域と学校が相互に連携し、地域住民等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支援することにより、住民等の学習成果を子育てに活かす場の拡充及び地域の教育力の活性化を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・社会教育委員会定例会を6回開催し、市の社会教育事業への助言や地域連携活動の推進により、地域の教育力の活性化を図る。 ・市内公立中学生向けの企業説明会「ふるさと未来塾」を開催し、地元の企業等を知ること、故郷を愛する気持ちを育むとともに、興味、関心に基づく勤労観、職業観の形成を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・社会教育委員会では「地域と学校の関わりを考える」をテーマに昨年から企画する勉強会を各学舎で開催した(菊西8/1、岳洋8/3、菊東12/21)他、「はたちの集い」(1/12アエル)での運営補助が行われた。 ・「ふるさと未来塾」では、市内の企業や団体の協力を得て、市内2中学校で実施した。また、実施後のアンケートでは、中学生から「大人になっても菊川市へ住み続けたい」と思うへの回答が多かった事、協力された企業・団体からは「学生と関わる良い機会」との意見をいただいた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・社会教育委員会では「地域と学校の関わりを考える」をテーマに6回の会議を行い、学舎毎の学習会の開催を企画する他、「はたちの集い」での運営補助が行われた。 ・「ふるさと未来塾」では、市内の企業や団体の協力を得て、市内3中学校で実施した。また、実施後のアンケートでは、中学生から「大人になっても菊川市へ住み続けたい」と思うへの回答が多かった事、協力された企業・団体からは「仕事を知って貰える良い機会」との意見をいただいた。		
今後の取組課題 又は改善点	・「社会教育委員会」の目的とテーマに即した活動に向け、委員会を開催して行く。 ・「ふるさと未来塾」では、事業の継続実施に向けた日程調整と開催内容の協議を行う。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる	
施策名 (中分類)	豊かな感性と社会性を育む活動の推進【①－ (3)】	担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	児童・生徒にボランティア活動や社会参加活動への参加を促し、広く社会で活動することを通して社会性や思いやりの心を育て、健やかな青少年の育成を支援する。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・ボランティア体験活動支援センターが各学校及び受入施設と連携し、児童生徒へのボランティア活動実践の場を提供することで、社会性や思いやりの心の育成を図る。 ・児童生徒がボランティア活動を行った時間数に応じて取得したポイントにより、級認定及び表彰を行うこと等により、児童生徒のボランティア活動への参加促進を図る。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	A	・ボランティア対象生徒の拡大により、登録者数や活動人数が増加した。 ・ボランティア級認定表彰では、継続して活動した3名を表彰した。(1級1名、2級2名) A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	・ボランティア活動を受け入れる施設数の増加により、登録者数、活動人数が増加した。 ・ボランティア級認定表彰では、継続して活動した2名を表彰した。(1級1名、2級1名)	
今後の取組課題 又は改善点	・ボランティアの活動希望者と受入施設とのマッチング作業に多くの時間を要する状況に有る。活動希望者と受入施設の増加を図るためにも作業を支援するシステムの導入について検討を進めて行く。 ・今後もボランティア参加者の安全を確保するため、受け入れ先や学校と連携して行く。	

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる		
施策名 (中分類)	豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進 【①－(4)】	担当課・係	
		社会教育課 社会教育係	
施策の目的	次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性とたくましさを備えるため、文化的・科学的な興味や関心を掘り起こし、体験や規律ある集団生活を通して人格形成を成すよう事業を推進する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・どきどきフェスティバル、小谷村地域間交流体験教室を開催し、豊かな感性と社会性の育成を図る。 ・はたちの集いを開催し、将来の菊川市を担う若者の節目を祝福することで、自立心や郷土愛の醸成を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・どきどきフェスティバルでは、土器づくりに10名、焼き雛づくりに7名が参加した。また、小谷村地域間体験交流教室では、スキー体験教室に23名が参加した。 ・はたちの集いでは、対象者472名中347名が出席した。式典及び当日の様子を映し公開した動画は、事業終了後1ヶ月が経過した時点で1,700回再生された。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・どきどきフェスティバルでは、土器づくりに10名、焼き雛づくりに9名が参加した。また、小谷村地域間体験交流教室では、スキー体験教室に4名が参加した。 ・はたちの集いでは、対象者522名中381名が出席され、各種規制を全廃して開催した。今回より保護者が入場可としたことにより、途中退場者が減少した。式典及び当日の様子を映し公開した動画は、2,300回再生された。		
今後の取組課題 又は改善点	・土器づくり、焼き雛づくり共に定員数の参加となったが、講師の高齢化による企画の継続が懸念される。 ・小谷村地域間交流教室参加者の増加を図るため、早期に企画の作成と情報発信を行う。 ・はたちの集いは継続して開催し、恩師のメッセージ動画及び式典の様子を撮影する動画について見直し、方法の改善を検討する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	地域で子どもを守り育てる		
施策名 (中分類)	新・放課後子どもプランの推進【①－(5)】	担当課・係	
		社会教育課 社会教育係	
施策の目的	放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。また、類似事業である放課後児童クラブとの連携を図り、総合的なあり方の検討を行い、よりよい環境づくりを推進する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市内の小学校において、放課後子ども教室を実施し、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 ・放課後子ども総合プラン運営委員会を開催し、放課後児童クラブとの連携を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・市内6地区(河城、加茂、堀之内、六郷、内田、小笠北)において放課後子ども教室を開催し、135名が参加されたが、横地では参加希望が無かったため不開催となった。また、小笠東、小笠南においては、体制整備が間に合わず募集に至らなかった。 ・放課後子ども総合プラン運営委員会を2月に開催、相互に意見交換が行われた。		
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・河城、加茂、内田、小笠北において放課後子ども教室を開催し、92名が参加されたが、堀之内、横地では参加希望が無かったため未開催となった。六郷、小笠東、小笠南においては、体制整備が間に合わず募集に至らなかった。 ・放課後子ども総合プラン運営委員会を2月に開催、相互に意見交換が行われた。		
今後の取組課題 又は改善点	・市内9小学校での放課後子ども教室の開催に向け、各小学校のコーディネーターから状況の聞き取りを行い、必要な支援を検討する。 ・放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について、各小学校の状況把握とコーディネーターからの意見集約が必要と考える。		

施策名 (大分類)	家庭の教育力向上		
施策名 (中分類)	家庭教育の推進【②－(1)】		担当課・係
			社会教育課 社会教育係
施策の目的	保護者同士が交流し、「子育て」や「しつけ」について悩みや喜びを話し合う場を設け、子どもの健全な身体と人格の発達を助長するために家庭教育の在り方を学ぶ。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市内の幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校において、家庭教育学級の開設を委託するとともに、家庭教育支援員を、各園及び学校に派遣することで、家庭の教育力向上を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・市内幼保小中において22学級が開設され、各学級で3回以上の活動が行われた。また、家庭教育支援員による各学級への巡回訪問を7回実施した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・市内幼保小中において22学級が開設され、各学級で3回以上の活動が行われた。また、家庭教育支援員による各学級への巡回訪問を6回実施した。		
今後の取組課題 又は改善点	・共働きの家庭や核家族化など家庭の形が変化し、活動の負担が大きいとの意見が上がっているため、今後の推進方法について検討を行う。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	生涯学習活動の推進		
施策名 (中分類)	生涯学習活動の推進【③－(1)】	担当課・係	
		社会教育課 社会教育係	
施策の目的	地域での生涯学習活動を推進するため、各種情報提供を行う。また、生活に潤いを与える趣味の講座や、社会問題について視野を広める講座等、幅広い学習の場を提供し、市民が仲間と共に楽しく学びつつコミュニケーション能力を高め、豊かな感性と人間性を養うことができる、学習の場を提供する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・ステップアップ講座、いきいきカレッジ菊川を開催し、一生続く趣味づくりや参加者同士の交流を深めることにより、生活にうるおいを与え、教養を高める。 ・生涯学習推進員研修会を開催し、生涯学習活動の推進と地域コミュニティの活性化を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・ステップアップ講座では、12種類の10回講座に110名、5種類の5回講座に57名、10種類の単発講座に96名、延べ263名が参加した。また、いきいきカレッジ菊川では、2会場で30名が参加した。 ・生涯学習推進員研修は3月に開催し、延べ77名が参加した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・ステップアップ講座では、13種類の10回講座に139名、1種類の単発講座に120名、延べ259名が参加した。また、いきいきカレッジ菊川では、2会場で28名が参加した。 ・生涯学習推進員研修は3月に開催し、延べ54名が参加した。		
今後の取組課題 又は改善点	・生涯学習活動が活発化するよう、講座の企画や研修会での啓発を継続する。 ・ステップアップ講座から公民館サークルや市民サークルへの移行方法を検討して行く。 ・民間のカルチャースクール感覚で参加される方が多くなって来ている。		

施策名 (大分類)	鑑賞機会の提供		
施策名 (中分類)	アエル指定管理者との連携【④－(1)】		担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	アエル指定管理者との連携により、民間のノウハウを活用し、更なる文化振興を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・アエル指定管理者へ芸術文化振興事業を委託し、各種公演を実施することで、市内の芸術文化の振興を図る。 ・月例報告や菊川文化会館アエル運営委員会を3回開催することで、教育委員会と指定管理者の連携を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	A A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。		
令和5年度実績評価	・市内の芸術文化の振興を図るため、菊川文化会館アエルに業務委託を発注し、9事業を実施した。 ・菊川文化会館アエルの管理運営の連携を図るため月例報告を受ける他、年3回の運営委員会を開催し、委員への状況報告と意見徴集を実施した。		
今後の取組課題 又は改善点	・市民に鑑賞機会を提供し芸術文化振興を図るためにも、委託事業を継続する。また、指定管理者との情報交換と情報発信を継続的に行う。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	鑑賞機会の提供	
施策名 (中分類)	アエルの計画的な施設の改修【④－(2)】	担当課・係
		社会教育課 社会教育係
施策の目的	アエルは平成4年3月に開館し、随所に経年劣化が著しく、管理運営に支障をきたす恐れがあるため、修繕を実施する。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・設備改修計画に基づく工事及び工事関連業務委託を実施することで、安全かつ円滑な管理運営を図る。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	・大ホール吊物機構の更新工事を実施した。5年度からの繰越工事の第一変電所の受電盤改修工事、空調吸収冷温水機分解整備工事を実施した。 ・小規模修繕では、空調関係のAHU・MD交換工事、冷却塔発停用自動制御機器更新工事、自動制御機器用部品交換を実施した。入口広場投光器改修工事、区画線工事を実施した。 ・業務委託では受電設備PCB検査を実施した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	・大・小ホールの舞台照明負荷設備の更新工事、第一変電所の受電盤改修工事、空調吸収冷温水機分解整備工事を発注したが、部品製造に不測の時間を要したことから、第一変電所の受電盤改修工事、空調吸収冷温水機分解整備工事は翌年度へ繰越す事となった。 ・指定管理者からの管理点検結果をもとに施設の老朽化に対応するため、スプリンクラー設備の呼水槽の交換工事と大ホールA・B階段の照明器具修繕工事を実施した。	
今後の取組課題 又は改善点	・経年劣化による施設設備の更新と修繕が必要な状況に有る。 ・今後も指定管理者や施設点検業者から設備の状況について聞き取りを行い、優先順位を考慮し早期の設備更新に取り組む。	

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援		
施策名 (中分類)	文化芸術活動の振興【⑤ー(1)】		担当課・係 社会教育課 社会教育係
施策の目的	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・文化協会に文化祭、絵画コンクール、書き初め展を委託し開催することや、文化協会活動の支援等により、市民の文化芸術活動の振興を図る。 ・文芸誌「文苑さくがわ」の編集を行い、冊子を発刊することで、市民の文化向上と郷土愛の増進を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・市から委託した3事業は適正に実施された。文化祭は、展示12団体、芸能21団体が参加し、11月2～3日の2日間開催され、延べ1,379名が来場した。絵画コンクールでは、72点の応募があり、入賞15点のうち5点を表彰した。書き初め展では、422点の応募があり、入賞41点のうち13点を表彰した。 ・文芸誌の発刊では、67点の作品提出があり、文芸誌編集委員による6回の編集作業を経て第17号を発刊した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・市から委託した3事業は適正に実施された。文化祭は、展示11団体、芸能21団体が参加し、10月28～29日の2日間開催され、延べ1,488名が来場した。絵画コンクールでは、136点の応募があり、入賞30点のうち6点を表彰した。書き初め展では、359点の応募があり、入賞33点のうち6点を表彰した。 ・文芸誌の発刊では、82点の作品提出があり、文芸誌編集委員による6回の編集作業を経て第16号を発刊した。		
今後の取組課題 又は改善点	・文化協会へ委託する3事業(文化祭、絵画コンクール、書き初め展)を継続する。 ・本市の芸術文化の振興を担う文化協会の会員・登録団体数の増加に取り組む。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援		
施策名 (中分類)	中央公民館の管理・運営【⑤－(2)】	担当課・係	
		社会教育課 社会教育係	
施策の目的	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・中央公民館の維持管理及び改修を適切に行うとともに、中央公民館の多目的ホール、会議室、和室等の施設の貸出を行うことで、市民の生涯学習活動の推進を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・保守点検や清掃業務委託、室外機コンプレッサー工事、多目的ホール排煙窓更新工事などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。 ・生涯学習や文化活動を目的とする施設利用は、前年度と比較して増加傾向にあり、運営審議会において随時報告を行った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・保守点検や清掃業務委託、非常照明取替工事、駐車場街灯建替工事、多目的ホール移動観覧席部品更新工事などを実施し、良好な状態を保つとともに、緊急を要する修繕に対応した。 ・生涯学習や文化活動を目的とする施設利用は、前年度と比較して増加傾向にあり、運営審議会において随時報告を行った。		
今後の取組課題 又は改善点	・経年劣化が進んでいるため、定期的な設備点検や修繕と共に長期的な設備更新について計画作成が必要。		

施策名 (大分類)	市民の文化・芸術活動への支援		
施策名 (中分類)	文化振興計画の推進【⑤－(3)】		担当課・係 社会教育課 文化振興係
施策の目的	菊川市文化振興計画の「5か年事業実施計画」の取組を実施するとともに、市民一人ひとりが自ら学び、地域とともに文化の継承・発展を図ります。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・文化振興計画推進委員会を2回開催し、文化振興計画の進捗管理を行う。 ・地域資源を生かした文化資源交流事業として「文化財ウォーク」を開催することで、地域の文化や文化財を市内外に広く紹介し、市の魅力を体験する機会を提供する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・11月30日に文化財ウォーク「虚空蔵山と秋葉灯籠」を開催し、38名が参加した。 ・小笠南地区の文化財や史跡などを巡り、地域の文化財を紹介することができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・庁内関係課で組織する文化振興計画推進委員会を2回開催し、文化振興計画の進捗管理を行った。 ・歴史検定委員会を4回開催し、検定開催に向けた協議や教本の原案の作成を行った。		
今後の取組課題 又は改善点	・文化財ウォークは好評であるため、来年度も開催する。その際には、広く市民からの参加があるよう、確実な周知を行いたい。 ・文化振興計画に関して、本年度より進捗管理を行う項目を大幅に見直した。これに伴い、推進委員会の開催を取りやめたが、計画が滞ることなく進むよう、注意して進捗管理を行いたい。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用		
施策名 (中分類)	文化財の保護 【⑥－(1)】	担当課・係	
		社会教育課 文化振興係	
施策の目的	市内にある指定文化財の維持管理を行うことにより、郷土の貴重な文化財を保護活用していく。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・文化財保護審議会を2回開催し、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査及び審議する。 ・国指定文化財等の維持管理及び整備を行い、文化財の保護及び継承を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・文化財保護審議会を2回開催し、嶺田文書の指定に向けた審議を行った。 ・国指定史跡「菊川城館遺跡群」の維持管理及び整備を行い、文化財の保護及び継承を図った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	文化財保護審議会を2回開催して、文化財保護審議会の答申により福田半香が描いた驟雨之図を有形文化財に指定した。		
今後の取組課題 又は改善点	・文化財を後世に継承するため、引き続き、市内の文化財について指定に向けた調査研究を行う		

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用		
施策名 (中分類)	文化・顕彰活動支援【⑥-(2)】	担当課・係	
		社会教育課 文化振興係	
施策の目的	菊川市に残る地域の文化財を保護するために、文化財の保護や継承を行っている団体に対して指導・支援を行う。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・指定無形民俗文化財の保存、継承活動を行っている団体及び地域文化財活動団体への支援を行い、文化財の保存、継承を図る。 ・関口隆吉氏顕彰事業を実施し、初代静岡県知事関口隆吉の遺徳顕彰を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・指定無形民俗文化財の保存、継承活動を行っている団体2団体と地域文化財活動団体3団体への支援を行った。 ・関口隆吉氏顕彰事業として、市内の小学6年生へパンフレットを配布するとともに、小学校のお昼の放送による周知を行った。		
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	指定民俗文化財の虚空蔵山節分祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により中止となったため、補助金の支払いは出来なかった。関口隆吉の顕彰事業として、市内の小学6年生全員にパンフレットを配布した。また、文化財ウォークでは小笠東地区を中心に善勝寺巡り、41名が参加した。		
今後の取組課題 又は改善点	・市内の文化財の保存、継承が図られるよう、市民団体への支援を継続する。 ・市民の関口隆吉の認知度がまだまだ低いため、引き続き小学校等での顕彰活動を行っていく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用		
施策名 (中分類)	文化財の活用【⑥-(3)】	担当課・係	
		社会教育課 文化振興係	
施策の目的	発掘調査等により出土した資料の展示や資料館等の収蔵品の展示を行うことにより、文化財の活用を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・菊川歴史検定を開催し、菊川の歴史の周知及び文化財の周知・活用を図る。 ・黒田家代官屋敷資料館及び菊川市埋蔵文化財センター「どきどき」の運営を行うとともに、街道画及び埋蔵文化財等の展示により、市民が文化財に触れる機会を提供する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・11月23日に菊川歴史検定(2級)を開催し、42人が受検し、30人が合格した。また、9月28日と10月14日には、歴史検定事前講座を行い延べ49人が参加。菊川の歴史と文化財の周知・活用を図った。 ・黒田家代官屋敷資料館及び菊川市埋蔵文化財センター「どきどき」の運営を行った。また、街道画「安部街道」の展示や中央公民館特集展示を行い、市民が文化財に触れる機会を提供した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で特別展示を開催し、活用が図られた。街道画の展示・活用については、中央公民館、菊川文庫で2回展示を行い、徳川家康をテーマに行った。昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。		
今後の取組課題 又は改善点	・歴史検定を継続して開催し、市民が歴史や文化財に興味を持つきっかけとする。 ・文化財や街道画の定期的な展示を行い、市民が文化財に触れる機会を提供する。		

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用		
施策名 (中分類)	史跡の管理・活用【⑥ー(4)】	担当課・係	
		社会教育課 文化振興係	
施策の目的	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・史跡菊川城館遺跡群整備委員会を2回開催し、国史跡菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡、横地氏城館跡)の整備及び活用を行う。 ・史跡菊川城館遺跡群整備実施設計及びUAVレーザー測量を実施するとともに、東の城園路を整備する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・国史跡菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡、横地氏城館跡)の整備に向けて、整備委員会を2回開催し、地元代表や専門家委員から意見を聴取した。また、東の城の園路廃止工事および危険樹木の伐採を行ったほか、レーザー測量業務と来年度施工予定の工事の実施設計業務を委託した。		
	A	A:十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B:一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C:十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	菊川城館遺跡群(高田大屋敷遺跡・横地氏城館跡)の整備基本設計の委託業務を行うとともに、整備委員会を開催し、高田大屋敷と横地城館跡の整備方針について議論した。令和6年3月に史跡菊川城館遺跡群整備実施設計を作成した。また、業務委託により樹木維持管理計画を策定した。		
今後の取組課題 又は改善点	・引き続き、整備基本計画に従って史跡の整備・維持を行っていく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	文化財の保存・周知・活用		
施策名 (中分類)	開発に伴う埋蔵文化財の保護・管理【⑥－(5)】	担当課・係	
		社会教育課 文化振興係	
施策の目的	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・各種開発による試掘、確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護及び開発行為との調整を図る。 ・埋蔵文化財包蔵地内での開発に先立って発掘調査を実施し、発掘調査報告書を刊行することで、遺跡の情報を後世に伝える。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・開発に伴う埋蔵文化財の発掘届を53件受理したほか、遺跡の破損の恐れのある開発に先立ち25件の試掘確認調査を実施した。 ・未報告であった白岩西狭間遺跡・栗林遺跡の発掘調査報告書を刊行した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	池之谷横穴群発掘調査報告書を刊行することができた。15件の確認調査を実施した。		
今後の取組課題 又は改善点	・開発に伴う埋蔵文化財の適切な保護のため、開発事業者との協議や指導を行う。 ・出土遺物等の整理を計画的に行い、報告書の刊行を進める。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	子どものスポーツ活動の充実 【⑦-(1)】	担当課・係	
		社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	乳幼児期は、楽しく遊びながら運動する機会を多く設け、体を動かす喜びや身体の高機能を使った運動に意欲関心がもてるようにすることが必要です。また、学童期は、近年積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著に認められることから、運動習慣が身につけていない子どもに対する支援の充実が課題となっています。そのため、様々な活動を体験できる機会を提供し、子どものスポーツ活動の充実を図ります。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・親子スポーツ教室の開催等により、子どもが楽しく体を動かす機会の提供を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・夏休み期間を利用し7月から8月にかけて全5回で開催。 ・応募初日に、定員一杯となり、キャンセル待ちが出るほど盛況であった。 ・親子20組44人が参加し、様々なスポーツを体験してもらうことができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・本事業は夏休み期間であり、体育館が大変暑い状況のため大型扇風機を設置し実施しているが、更なる熱中症対策が必要である。		

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	青年期・壮年期のスポーツ活動の充実【⑦- (2)】	担当課・係	
		社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	青年期は、学校卒業後、スポーツにかかわる機会が減少する時期でもあります。そのため、地域においてスポーツを継続的に続けられる取組を推進します。壮年期は、家庭や職場において充実した時期になることから、自分の嗜好に費やす時間が取りにくくなり、スポーツや運動にもっとも取り組みにくい時期となります。地域住民間のコミュニケーション機会の提供や、親子でできるスポーツ活動を実施するなど、スポーツの楽しさや大切さを伝える機会を提供していきます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・静岡県市町対抗駅伝競走大会やスポーツ少年団交流会の委託により、市スポーツ協会所属団体等の活動推進を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・静岡県市町対抗駅伝では、市スポーツ協会が実行員会を設置し早期からの練習に取り組んだ結果、過去最高の9位入賞を果たすことができた。 ・スポーツ少年団交流会には124人が参加し、少年団の垣根を越えてフランクディスクを楽しんだ。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・今後、少子化によりスポーツ少年団が減少していくことから、市のスポーツ協会と連携して活動を推進していく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	高齢期のスポーツ活動の充実 【⑦-(3)】		担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	高齢になるにつれて運動機能が低下し、疲労回復に時間がかかる時期です。一方で自由に使える時間が増え、スポーツや運動を実施する方の割合が増えてきます。高齢者が無理なくスポーツを楽しむことができる機会の提供に加え、生きがいづくりや健康づくり、介護予防の取り組みを推進します。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・シニア健康体操教室等の高齢者を対象とした事業を実施し、高齢者が無理なくスポーツを楽しむ機会の提供を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・会場により参加者数及び性別にばらつきがあることから、情報の周知を工夫する必要がある。		

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	障がい者のスポーツの推進 【⑦-(4)】		担当課・係
			社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	障がいのある人にとって、スポーツは健康増進やリハビリテーションに役立つとともに、自立と社会参加に向け、重要な役割を果たしています。関係機関・団体等との連携を強化し、障がいのある人が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを進めます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・パラスポーツを取り入れたイベントの開催や情報提供により、障がいのある人が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・パラスポーツとしてボッチャを取り入れるため、スポーツ推進委員を対象に講習会を実施。また、ボッチャの用具を購入した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・ボッチャを実施するにあたり、会場はある一定の広さが必要であることから、多くの方に楽しんでいただけるよう、菊川市独自のローカルルールを作成していく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	健康な体づくりにつながるスポーツの推進【⑦- (5)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	平均寿命が延伸し、健康寿命との差が拡大していくと、支援が必要な期間が延び、個人の生活の質の低下にもつながります。個々の年齢や生活環境に応じた運動習慣を身につけることで、心身機能の維持や健康増進の向上を図ります。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・ウォーキングを楽しむことのできる環境の整備やサイクリングによる健康づくりに関する広報を行うことにより、心身機能の維持や健康増進の向上を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・スポーツ振興基本計画の庁内連絡委員である健康づくり課がウォーキングコース2コースを設定しマップを作成。 ・市内団体が実施するウォーキング情報を市の広報紙に毎月掲載した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・サイクリングコースについても検討していく必要がある。		

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	誰もが取り組めるスポーツイベントの開催【⑦- (6)】	担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	子どもから大人まで誰もが気軽に楽しむことができるレクリエーションスポーツのイベントや全国のマラソン愛好家と市民が交流できるマラソン大会等のスポーツイベントを開催します。また、スポーツを通じて交流を深めていくことは、地域の活力を生み出し、連帯感の醸成にもつながります。地域の意欲に応じてスポーツイベント等を協働により取り組んでいきます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・様々なレクリエーションスポーツを体験し楽しむことができる「スポーツレクリエーションフェスティバル」の開催や、市スポーツ協会自主事業「菊川City マラソン」、アプロス菊川主催の「深蒸し茶の里 菊川ファン駅伝」の開催により、スポーツを通じて交流を深めるとともに、連帯感の醸成を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	B	・スポーツを気軽に楽しむことができる「スポーツレクリエーションフェスティバル」が雨天中止となり、市の主催事業の一つが実施できなかった。 ・Cityマラソンや菊川ファン駅伝では、それぞれの主催団体と連携し、情報発信等を実施した。	
		A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・「スポーツレクリエーションフェスティバル」を雨天時に対応できるよう検討が必要である。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	スポーツ情報の内容拡充 【⑦-(7)】		担当課・係
			社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	誰にも平等に情報が提供できるよう、広報紙や回覧板、市のホームページ、公式SNSなどで情報提供を行います。また、スーパーマーケットや金融機関、郵便局など、不特定多数の人が目にしやすい場所への掲示をはじめ、情報機器を用いたソーシャルメディアなど、新たな情報手段を活用した情報発信を行います。このほか、スポーツ教室への参加経験者に対しても、新たな講座や教室を開講する際にはお知らせするなど、仲間を増やす活動にも取り組んでいきます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・スポーツ情報に関して広報紙を活用するとともに、ホームページや公式SNSを活用した情報発信を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・各種事業について、広報紙や市のSNSを活用し情報発信を実施した。 ・スポーツレクリエーションフェスティバルについては、外国語版のチラシを作成し、市内外国人学校に配架した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・引続き、市のSNS等により情報発信を継続していく。		

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	関係部署、民間事業者との取り組み 【⑦-(8)】		担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	スポーツに関する事業に関して、民間事業者と本市が対話を通じて連携を深め、相互が持つ資源やノウハウを活用した「共創」や市各担当課で相互に連携を図り、市民の誰もがスポーツに参加しやすい環境づくりに取り組みます。また、事業計画は、期間内であっても市スポーツ推進審議会に報告・諮問し、計画の目標及び施策の見直しを行います。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・包括連携協定やスポーツ協定を実施している民間企業と協力し、事業や啓発活動を実施することにより、スポーツ振興の推進を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・民間企業からの招待試合、三遠ネオフェニックスによる小学校訪問事業やジュビロ磐田サッカー巡回教室等の情報を発信し、事業の啓発に努めた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・民間企業からの有益な情報は、引続き情報発信に努めていく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	誰もがスポーツに触れ合う機会の創出		
施策名 (中分類)	定期的なニーズ把握による新たな教室等企画の取り組み【⑦-(9)】		担当課・係
			社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	各担当課は、定期的にニーズの把握を行い、社会情勢やニーズの変化に伴う課題に対応すべく新たな事業の可能性に関して検討し、一人でも多くの市民がスポーツや運動に参加できる機会の提供を行います。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・スポーツ教室やイベント開催時に、参加者へのアンケート調査を実施し、新たな教室の企画に活用する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・市が実施する教室やイベント参加者に対してアンケートを実施した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・改善に繋がるような意見については、次年度の事業時に検討して改善に繋げていく。		

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援		
施策名 (中分類)	スポーツグループ・クラブの自立支援【⑧-(1)】		担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	市スポーツ協会は、平成24 年4月から特定非営利活動法人としてスタートを切り、各種事業を展開し、スポーツ振興に大きく寄与しています。市スポーツ協会の育成・強化を図ることで、体力及び競技力の向上や会員間のコミュニケーションの活性化にとどまることなく、健康増進や青少年健全育成も推進していきます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・菊川市スポーツ協会で組織されるスポーツ少年団本部の活動を支援し、各団体の育成強化や青少年の健全育成を図る。 ・市スポーツ協会や学校教育課と連携し、未来の部活動在り方検討会を開催するとともに、地域移行に向けた専門部会を開催し、陸上競技で試行を実施する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・中学生部活動の地域移行を進めるため、未来の部活動在り方検討会を7回実施、また、3種目について専門部会を開催し、10月から陸上競技の試行をアプロス菊川を母体として実施した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・4月から陸上競技を試行から本活動に移行する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援		
施策名 (中分類)	スポーツ団体の交流と情報交換 【⑧-(2)】		担当課・係 社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	本市並びに近隣都市で開催されるプロスポーツ大会などの情報提供を行うとともに、地域や地元出身の選手、チームが出場する全国大会等の応援体制を支援します。友好都市とのスポーツ交流は、交流の意義を検証し、都市間のスポーツ交流が幅広く実施できるよう検討を進めます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・地域や地元出身の選手、チームが出場するスポーツ大会の応援等を企画する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・全国大会や、東海大会に出場する団体や個人が市長や教育長への表敬訪問の日程調整を図り13件の表敬訪問を実施することができた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・新たな応援等の企画のため、他市の応援体制の情報を得る必要がある。		

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援		
施策名 (中分類)	総合型地域スポーツクラブの充実 【⑧-(3)】		担当課・係
			社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	幼児から高齢者までを対象とした運動体験からトップアスリートの育成まで、幅広い市民ニーズに応える目的で設立されたアプロス菊川の運営に対し、クラブが自主的・主体的に活動できるよう基盤となる体制としていきます。また、総合型地域スポーツクラブを運営するためには、スポーツ教室やサークル活動、クラブハウスといった様々な要素が必要となることから、活動拠点の整備等に関しても支援します。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の人材の育成と会員確保、組織体制の強化等により、クラブが自主的・主体的に活動できるような体制の確立を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・アプロス菊川については、シニア健康体操教室や市民健康駅伝競走において講師や計測機器の借り上げを実施したが、組織の育成、体制強化には繋がっていない。		
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・今後、部活動の地域展開などアプロス菊川に託していきたい事業もあるが、組織体制が整っていないことから難しい現状である。事務職員等を雇えるような運営資金が必要である。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	スポーツ団体・スポーツ活動への支援		
施策名 (中分類)	アスリートの育成支援 【⑧-(4)】		担当課・係
			社会教育課 スポーツ振興係
施策の目的	地元高校の「高校野球全国制覇」や市内出身者のプロアスリート化に見られるように、トップアスリートの活躍は市民に夢と希望と感動を与えるものです。ジュニア期から一貫した指導体制による選手育成を図るため、市スポーツ協会や競技団体、民間スポーツ団体等と連携し、アスリートの育成を支援します。 また、アマチュアスポーツの全国大会等に出場する個人又は団体に対し、スポーツ大会出場奨励金の交付や激励会を行うことで、競技者の意欲の向上を図ります。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・民間スポーツ団体等との連携やスポーツ講座の開催により、スポーツ活動で生かす知識や技術の習得を図る。 ・全国大会等に出場する選手又は団体への奨励金の交付と表敬訪問を実施することで、更なる活躍及び技術の向上を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・奨励金支給要綱に基づき、11団体、51個人に奨励金を支給。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・奨励金について、広報紙等で情報発信しているが制度を把握していない人がいる。		

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供		
施策名 (中分類)	スポーツを通じた地域づくり【⑨-(1)】	担当課・係	
		社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	スポーツ推進委員は、各地区からの推薦を受け、地域スポーツの推進役としての業務を担う他、市が主催するスポーツ大会やスポーツ教室などでの指導・助言を行い、本市のスポーツ推進に貢献する貴重な人材といえます。そのため、定例会等により更なる活動の充実を図り、スポーツ推進委員との協働に努めるとともに、各自治会選出のスポーツ委員への研修会の実施等の連携を図ります。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・コミュニティ協議会との連携により、各地域において、更なるスポーツ、レクリエーションの普及を図る。 ・スポーツ推進委員定例会の開催や、各種研修会及び研究大会への参加により、スポーツ推進委員の資質向上を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・教室やイベントを円滑に進めるため、スポーツ推進委員の定例会において、内容の協議や見直しを行った。また、三市の実技研修会、県の研修会や東海四県研修会に参加し資質向上に努めた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・スポーツ推進委員と地区コミュニティの連携が地区により大きく異なり、協力体制が整っていない地区がある。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供		
施策名 (中分類)	スポーツボランティアの育成と活動支援【⑨- (2)】	担当課・係	
		社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	市スポーツ協会や市主催のスポーツイベントの運営にあたり、スポーツボランティアの役割は大きなものとなります。スポーツに関心を持ち、様々なイベントのボランティア経験を積むことで活躍できる市民を育成します。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市スポーツ協会や学校教育課と連携し、中学生の部活動の地域移行の推進や指導者の確保等に協働で取り組み、中学生運動部活動の地域移行のための体制構築を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・部活動地域移行のため、指導者となり得る人材を見つけるため、競技種目毎に実践検討会を実施し、36人に登録いただいた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	—		
今後の取組課題 又は改善点	・公認地域クラブの募集をおこない、中学生の受け皿となる団体の登録を進めていく必要がある。		

施策名 (大分類)	スポーツ活動の場の提供		
施策名 (中分類)	スポーツ施設の維持・管理・改善 【⑨-(3)】	担当課・係	
		社会教育課 スポーツ振興係	
施策の目的	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・小笠体育館LED化工事、和田公園多目的広場及び丹野グラウンドバックネット改修工事の計画的な改修・整備を行い、スポーツ施設の安全・安心な利用を図る。 ・指定管理者との連携によるスポーツ施設の維持管理及び貸出を実施し、市民のスポーツ活動の場の提供を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・小笠体育館のLED化工事、和田公園多目的広場及び丹野グラウンドのバックネット改修工事を実施。また、令和7年度に実施する和田公園LED化工事の実施設計及び和田公園トイレ建替えのための実施設計を行った。 ・なお、令和5年度からの繰越しとした菊川公園LED化工事を予定どおり6月に完成することができた。		
	B	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・市民へのスポーツの機会提供のため、市内体育施設の貸し出し業務を行った。 ・菊川公園の夜間照明のLED化工事を実施したところ、次年度に繰越しとなり6月完成予定となった。		
今後の取組課題 又は改善点	・市民に安心、安全に体育施設を利用していただくため、継続的な維持管理に努める。		

基本理念	「豊かな学びで歩み続ける人づくり」	
「豊かな学びで歩み続ける人」とは	～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～	
基本方針	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進【社会教育】	
重点施策(大分類)	施策(中分類)	主要事業(事務・事業)
⑩ 子どもの読書活動の推進 (図書館)	(1) 読書習慣の定着	ア 子ども読書活動推進計画の着実な実施
		イ ブックスタート事業
	(2) 学校図書館と公立図書館の連携	ア 学校司書巡回事業
		イ 団体貸出の推進
		ウ 子ども司書の養成と活動促進
		エ 学校図書館の整備支援
	(3) 移動図書館の充実	ア 移動図書館巡回事業
		イ 利用者カードの促進
	(4) 青少年サービスの充実	ア ボランティア・インターンシップの支援
		イ YA(ヤングアダルト)コーナーの充実
	(5) 子ども向けイベントの充実	ア こども図書館事業
		イ 親子読書の集い(おはなしステーション)事業
		ウ おはなし会等
⑪ 読書機会の提供と読書活動の啓発 (図書館)	(1) 多様な図書館サービスの提供	ア バリアフリーサービス
		イ 多文化サービス
		ウ 予約・リクエストサービス
		エ 協力貸出・相互貸借の推進
		オ 電子図書館の導入と利用促進
	(2) 課題解決や多様な学習活動等の支援	ア レファレンスサービス等の充実
		イ 特設コーナー等の充実
		ウ パスファインダーの充実
	(3) 情報通信技術(ICT)の活用	ア SNSを通じた情報発信
		イ ホームページの充実
		ウ インターネットサービスの提供
⑫ 読書環境の整備 (図書館)	(1) 計画的な資料収集と蔵書管理	ア 図書館資料の充実
		イ 地域資料等の収集とデジタル化
		ウ 不用図書等の有効活用
	(2) 専門性を備えた職員の育成	ア 専門的な研修等への参加促進
		イ 職員のスキルアップ強化
	(3) 市民協働による図書館運営の推進	ア 図書館ボランティア等への支援
		イ 図書館ボランティア人材の育成
	(4) 効果的な図書館運営の検討	ア 図書館協議会の開催(図書館運営の推進及び検証)
		イ 自主財源確保に向けた取り組みの充実

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑩	子ども読書活動の推進			担当課	図書館	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
子どもを対象とした読み聞かせ活動の参加者数	1,708人	3,402人	2,790人			2,200人
児童図書の年間貸出冊数(12歳以下の子ども1人当たり)	33.0冊	31.9冊	32.5冊			34.6冊
2. 成果指標の分析と課題						
・基準値(R4)、目標値と比較し、子どもを対象とした読み聞かせ活動の参加者数とも達成したが、12歳以下の子ども1人当たりの児童図書の年間貸出冊数は、達成できなかった。 ・子どもたちが足を図書館へ運び、図書を手にする機会を増やしていくことが必要である。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・子どもたちが更に多くの図書を手にするよう魅力ある図書を揃え、視覚に訴える図書の配架やPOP(宣伝カード)の表示も実施していく。 ・図書館へ来館を促す行事及び広報を実施し、図書館の魅力を発信していく。 ・電子図書館の利用についても啓発し、時間や場所を問わず利用可能な特長をアピールし、利用者の増加を図る。						

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑪	読書機会の提供と読書活動の啓発			担当課	図書館	
1. 成果指標						
指 標	基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
図書館個人利用者数(館内・巡回・電子の個人貸出者合計)	80,595人	80,335人	77,528人			83,800人
電子書籍の提供コンテンツ点数(累計)	0点	—	851点			2,700点
2. 成果指標の分析と課題						
・図書館個人利用者数(館内・巡回・電子の個人貸出者合計)は、77,528人(うち図書館窓口75,686人、巡回車1,125人、電子図書館717人)であった。 ・累計の電子書籍の提供コンテンツ点数は、令和7年2月の電子図書館の稼働開始にあたり、サービスを提供できる初期の電子書籍の点数は整備できた。新型コロナウイルス感染症の流行後、来館による利用者が減少傾向であり、新たな需要の掘り起しに向けて魅力ある電子書籍のコンテンツを整備することも課題である。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・市民に対し、電子媒体の広報と合わせて図書館利用の啓発を行い、来館による利用を促す行事も実施していく。 ・電子図書館についても、導入の事実を周知し、時間や場所を問わず利用可能な特長をアピールして利用者の増加を図る。						

令和6年度 点検評価シート(重点施策)

基本方針3	市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会教育の推進					
重点施策⑫	読書環境の整備			担当課	図書館	
1. 成果指標						
指 標	基準値 (R4)	R5	R6	R7	R8	目標値
図書館における総貸出点数(個人・相互・団体の総数)	342,576点	331,661点	310,946点			356,000点
2. 成果指標の分析と課題						
・図書館における総貸出点数(個人・相互・団体の総数)は、基準値(R4)、目標値とも達成ができなかった。 ・総貸出点数が減少した理由は、図書館情報システム更新及び電子図書館導入準備のため、例年より休館期間が長かった影響もあるが、新型コロナウイルス感染症の流行後、利用者の減少傾向が続いているのも課題である。						
3. 成果達成に向けた今後の取組						
・電子媒体の広報と合わせ、市民へ図書館利用の啓発を行い、来館を促す行事も開催していく。 ・電子図書館についても、導入の事実を周知し、時間や場所を問わず利用可能な特長をアピールして利用者の増加を図る。						

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進		
施策名 (中分類)	読書習慣の定着【⑩-(1)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	第四次菊川市子ども読書活動推進計画に基づき、子ども自身が主体的に読書に取り組めるような環境整備を進めるとともに、乳幼児期からの読書習慣の定着を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・子ども読書活動推進協議会、子ども読書活動庁内推進委員会及び学校図書館担当者連絡会を開催し、子ども読書活動の推進を図る。 ・6か月児相談時にブックスタートパックの配布を行い、絵本を通した家族のふれあいを推奨する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・子ども読書活動推進協議会及び学校図書館担当者連絡会を開催し、子どもの読書に関する施策に対する意見を聴取及び関係者との情報交換を行った。 ・ブックスタート活動を年24回実施し、絵本を通した家族のふれあいを推奨した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・子ども読書活動推進協議会及び学校図書館担当者連絡会を開催した。 ・6か月児相談時にブックスタートパックの配布を行い、絵本を通した家族のふれあいを推奨した。		
今後の取組課題 又は改善点	・第四次菊川市子ども読書活動推進計画を推進するため、現在実施中の各施設や各団体との連携及び協力を継続推進する。		

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進		
施策名 (中分類)	学校図書館と公立図書館の連携【⑩-(2)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	子どもの読書活動の継続のために、学校図書館が機能できるよう公立図書館が連携して事業を実施する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・図書館司書が市内小中学校を月2回程度巡回訪問し、学校図書館の環境整備や図書登録等の支援を行う。 ・菊川市子ども司書養成講座を年10回実施し、菊川市子ども司書を認定することで、子どもの立場から読書活動を推進する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・図書館司書が、市内小中学校を巡回訪問(2回/月)し、学校図書室の整備や図書を活用した学習支援等を行った。 ・菊川市子ども司書養成講座を10回(開講式と修了式を含む)を開催し、菊川市子ども司書7人を認定した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・図書館司書が市内小中学校を定期訪問(月2回)し、学校図書室の整備や読書を通じた学習支援等を行った。 ・菊川市子ども司書養成講座を年10回開催し、菊川市子ども司書6人を認定した。		
今後の取組課題 又は改善点	・学校図書館を利用した読書活動や学習支援のため、引き続き学校との連携を密に図っていく。 ・認定した子ども司書の活動の機会を広げ、子どもたちへに読書活動の推進につなげていく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進		
施策名 (中分類)	移動図書館の充実【⑩-(3)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	なかよし2号で市内の小学校を定期的に巡回し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・なかよし2号による市内小学校への巡回貸出を、1校あたり年10回訪問し、子ども達が読書に親しむ機会を提供する。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・なかよし号による市内小学校への巡回貸出を、1校あたり年10回実施した。 ・貸出冊数は、年間で2,842冊となり、令和7年度実績よりも減冊したが、図書館司書が選書した図書を子どもたちに提供できた。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	なかよし号による市内小学校への巡回貸出を、1校あたり年10回訪問した。貸出冊数は年間3,246冊だった。		
今後の取組課題 又は改善点	・第四次菊川市子ども読書活動推進計画を推進するため、現在実施中の各施設や各団体との連携及び協力を継続推進する。		

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進		
施策名 (中分類)	青少年サービスの充実【⑩-(4)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	青少年ボランティアやインターンシップを受け入れるとともに、中高生向けの資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化をめざす。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・青少年ボランティアやインターンシップの受け入れにより、本や図書館に関わる機会を通じて、進学や就職に役立つ経験を得てもらう。 ・中高生向き資料の充実を図ることで、青少年の読書生活の習慣化を目指す。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・大学生の図書館実習生を1人、中学生の職業体験を5人、小中高生のボランティアを4人受け入れた。 ・中高生向け図書コーナーに随時新刊を受入れ、中高生年代が興味を持つテーマの展示を行う等、資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化を目指した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	大学生インターンシップ4名、大学生図書館実習1名、高校生インターンシップ3名、小中高生ボランティア7名を受け入れた。菊川文庫に中高生向け図書コーナーを設置する等、資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化を目指した。		
今後の取組課題 又は改善点	・インターンシップ等に参加した学生におすすめの図書を推薦してもらう、同世代が本を読むきっかけにつながるアイデア等を聴取する等の活動を通して、学生年代における読書活動推進への施策に生かしていく。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	子どもの読書活動の推進			
施策名 (中分類)	子ども向けイベントの充実【⑩-(5)】	担当課・係 図書館 図書1・2係		
施策の目的	子どもたちに図書館や本の世界に親しむきっかけを提供するため、おはなし会などの催事を実施する。			
教育委員会による自己評価				
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・こども図書館及び親子読書の集い(おはなしステーション)を開催するとともに、すいようおはなし会、0・1・2歳児おはなし会、日曜おはなし会等を開催し、子ども達に図書館や本の世界に親しむきっかけを提供する。			
令和6年度実績評価 (施策評価)	<table><tr><td>A</td><td>A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。</td></tr></table>		A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。			
令和5年度実績評価	・8月1日(火)～13日(日)に小笠図書館でこども図書館フェスタを開催した。 ・7月1日(土)に親子読書の集い(おはなしステーション)を開催した。 ・すいようおはなし会、012歳児おはなし会、日曜おはなし会を開催した。			
今後の取組課題 又は改善点	・小笠図書館で平日に開催するおはなし会の参加者が減少しているため、令和5年度末から、新たに第2日曜日に「さんさんおはなし会」を開催している。 ・今後も子どもたちが本の世界を楽しむきっかけを実施していく必要がある。			

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動の啓発	
施策名 (中分類)	多様な図書館サービスの提供 【⑪-(1)】	担当課・係 図書館 図書1・2係
施策の目的	すべての人が快適に利用できるよう、図書館の資料やサービスを活用して市民のニーズに応える。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・令和7年2月の図書館システムの更新に合わせて、電子図書館を運用開始する。 ・すべての人が快適に図書館を利用できるよう、多文化サービス及び予約・リクエストサービス等の多様な図書館サービスを提供する。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	・図書館情報システムの更新に合わせ、電子図書館システムを導入し、運用を開始した。 ・圖書の予約受付数19,817件、リクエスト受付数911件であった。 ・年間の相互貸借:1,468冊(内訳 貸出706冊、借受762冊)であった。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	・令和6年度の図書館システムの更新に合わせて電子図書館の導入準備を進めた。 ・予約受付数件18,860件、リクエスト受付数956件であった。 ・年間の相互貸借冊数:1,535冊(内訳 貸出冊数737冊、借受冊数798冊)であった。	
今後の取組課題 又は改善点	・市民にとって、魅力ある図書館とするため、資料の充実を図るとともに、電子図書館の利活用に向けて啓発を実施していく。	

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動の啓発		
施策名 (中分類)	課題解決や多様な学習活動等の支援【⑪-(2)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	図書館利用者が求める資料や情報を提供するレファレンス・サービス等の充実・高度化に努める。また、生涯学習情報その他の情報提供にも努める。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・市民からの調査依頼に図書館資料を利用して回答する、レファレンスサービスを実施する。 ・月1～2回程度、特集コーナーを更新するとともに、パスファインダー(特定のテーマに関する本の探し方、調べ方の案内)を充実させ、課題解決や多様な学習活動の支援を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・2,917件のレファレンスを受付した。小説や自然科学、郷土に関する内容が多かった。 ・季節や時事の話題等をテーマとした特集展示を各館で月2回以上(84回)実施した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・3,365件のレファレンスを受け付けた。小説や自然科学、郷土に関する内容が多かった。 ・季節や行政課題等をテーマとした特集コーナー展示を84回実施した。		
今後の取組課題 又は改善点	・郷土に関する調査等、受付した調査事例を記録・公表し、レファレンスサービスの周知に向けた取組みを行う。 ・定期的に特集展示の入替えをおこない、時事や興味にあった情報の提供を行う。		

施策名 (大分類)	読書機会の提供と読書活動の啓発		
施策名 (中分類)	情報通信技術(ICT)の活用【⑪-(3)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	紙媒体とデジタル媒体のハイブリッド図書館として、多様な方法で市民への情報提供を図る。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・図書館のイベント情報や図書館の業務、サービスについて、SNSを活用して発信するとともに、ホームページや広報誌に掲載し、市民への情報提供を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・図書館公式SNS(X)の発信を各館1日1件(2館で2件)行い、定期的な情報提供を行った。市民への情報伝達をより効果的に行うため、図書館システム更新にあわせ、図書館ホームページのリニューアルを行い、電子図書館の周知等を行った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	・図書館公式X(旧Twitter)の発信を、菊川文庫221回、小笠図書館238回行った。 ・ホームページにおいて図書館のイベント情報や特集展示等の情報発信を119回行った。		
今後の取組課題 又は改善点	・ホームページなど、図書館が持つ広報媒体での定期的な情報発信を継続するほか、市公式SNS、連携協力企業等外部の媒体を活用し、幅広い層に向け情報を発信する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	読書環境の整備	
施策名 (中分類)	計画的な資料収集と蔵書管理【⑫-(1)】	担当課・係
		図書館 図書1・2係
施策の目的	多様化する市民ニーズに対応するために、一般書、児童書、参考資料、郷土資料、行政資料、視聴覚資料等の確保・充実に努める。	
教育委員会による自己評価		
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・新刊本の購入や寄贈資料の受入、書架整理を行い、計画的な資料収集と蔵書管理を図る。 ・地域資料の収集を行うとともに、両館が所蔵する古文書のデジタル化及びホームページ公開を行い、市民の生涯学習の支援を図る。	
令和6年度実績評価 (施策評価)	・図書7,282点(内購入6,626点、寄贈等656点)を受け入れた。館内整理日における書架整理(各館年7回)、蔵書点検を年1回実施した。(図書館システム更新に伴う臨時休館期間に実施) ・両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。電子図書館のホームページで5件を公開した。	
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。
令和5年度実績評価	図書7,574点(内新刊本購入6,878点、寄贈等696点)を受け入れた。各館それぞれ館内整理日に書架整理8回、蔵書点検1回を実施した。 両館で所蔵する貴重な古文書・地域資料をデジタル化した。市図書館のホームページで5件を公開した。	
今後の取組課題 又は改善点	・限られた予算で魅力的な選書を行う必要がある。また、電子図書館でデジタルアーカイブが公開可能となったため、引続き古文書と地域資料のデジタル化を進める。	

施策名 (大分類)	読書環境の整備		
施策名 (中分類)	専門性を備えた職員の育成【⑫-(2)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	図書館サービスを担う職員の資質・能力向上と、専門性の高い職員の育成活用を目指す。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・初任者やキャリアに応じた研修や、職位に応じた研修など、専門的な研修等への積極的な参加を促進するとともに、参加した研修の内容や成果を職員間で共有し、図書館サービスの一層の向上を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・正規職員、会計年度任用職員ともに、図書館業務に必要な知識を得るため年1回以上の研修に参加し、内容を職員間で共有した。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。		
今後の取組課題 又は改善点	・研修に参加し、他館と情報交換を行い、実務に必要な知識の向上を図る。また、動画配信等、遠隔地で受講が可能な研修を積極的に受講する。		

令和6年度 点検評価シート(施策)

施策名 (大分類)	読書環境の整備		
施策名 (中分類)	市民協働による図書館運営の推進【⑫-(3)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	図書に関するボランティア活動の場を創出・提供し、市民との協働による図書館運営を目指す。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、ボランティアと協働して事業を実施し、市民協働による図書館の推進を図る。 ・図書館ボランティアを養成する講座や情報交換会を開催し、人材育成を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・おはなし会やおはなしステーション、こども図書館等の図書館行事において、ボランティアと協働し、事業を実施した。 ・図書館ボランティア養成講座を年2回開催し、読み聞かせや図書の装備のほか、学校図書館に関する内容を学ぶプログラムを交え、図書館と学校図書館でボランティア活動ができる人材の育成を図った。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	おはなし会やおはなしステーションの図書館行事において、ボランティアと協働して事業を実施した。		
今後の取組課題 又は改善点	・ボランティア活動を行う人材の増加を図るため、ボランティア団体の活動を周知し、協力者を募る。		

施策名 (大分類)	読書環境の整備		
施策名 (中分類)	効果的な図書館運営の検討【⑫-(4)】	担当課・係	
		図書館 図書1・2係	
施策の目的	効果的な図書館運営、市民サービスの充実向上を図るために図書館協議会を開催し、図書館のあり方等について検討する。		
教育委員会による自己評価			
令和6年度評価指標 (事業計画・目標)	・図書館協議会を3回開催し、図書館の休館日と開館時間の変更について諮問し、投信を得る。 ・雑誌スポンサーを募集し、自主財源確保を図る。		
令和6年度実績評価 (施策評価)	・図書館協議会を4回(第3回目は書面会議)開催し、休館日の分散及び開館時間の変更について諮問を行い、審議を経て答申を得ることができた。 ・雑誌スポンサーを募集し、4社から内容に関する説明希望があったが、新規獲得には至らなかった。		
	A	A: 十分な成果があり、施策の目的が達成された。 B: 一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。 C: 十分な成果が得られず、改善が必要である。	
令和5年度実績評価	図書館協議会を3回開催し、電子図書館の導入などについて審議を行うことができた。 雑誌スポンサーを募集し、2社(フライスター株式会社東海工場、株式会社ベルソニカ)からの申し込みを得た。		
今後の取組課題 又は改善点	・図書館協議会において、電子図書館の運用状況をはじめとした図書館の利用状況を報告し、協議会委員(市民代表)の目線から意見を聴取し、図書館運営の改善につなげていく。		

外部評価

教育委員会の活動「シート1」及び管理執行する事務「シート2」に対する外部評価

教育委員会の活動及び運営状況

- ・毎年、4月、5月、3月に審議案件が集中して仕方がないことだとは思いますが、大変だと思います。
- ・学校及び教育施設の訪問については適切だと思います。
- ・会議・研修会の件で、教育長以外の教育委員の方が参加できる研修会（県単位）が少ない。
- ・多くの案件の審議・活動の取組がなされていると思います。
- ・P7の報告事項の中に「学舎コミュニティ・スクール」、「未来の部活動の在り方」、「不登校児童生徒対策」、「外国人児童生徒支援」、また「これからの学校の在り方」など、学校教育が抱えている重要課題が掲載されています。これらの課題は学校現場だけでは到底解決するものではありません。学校、教育委員会、市長部局が連携し、未来の菊川市の子どもたちのため更なるご検討をお願いいたします。

教育委員会の活動に対する点検評価

- ・教育委員会の活動については、全体的に適切であろうと思います。
- ・教育委員の自己研鑽について、「子どもと教育長・教育委員が語る会」が開催されたことはすばらしい取組みだと思います。
- ・教育委員の研修の場を増やすためにも、前年度実施された「若手教員と語る会」「校長と語る会」等をこれからも継続されたらどうかと思います。
- ・「子どもと教育長・教育委員が語る会」が実施され、新たに子どもの視点というものを取り入れ学校づくりの更なる展開が楽しみです。
- ・(4)「教育委員会と首長の連携」は更に加速する少子高齢化の中で、これからの学校教育・社会教育の在り方を考えると年1回の開催は少ないと感じました。ぜひ首長や市議会議員との意見交換の開催をお願いします。

教育委員会が管理執行する事務に対する点検評価

- ・12項目中の9項目が実現度Aですので、教育委員会が管理、執行する事務については適切であろうと思います。
- ・適正に評価されていると思います。
- ・議案のなかった3項目を除く全ての事務の実現度がA判定であり、適正であったと評価します。

こども政策課に対する外部評価

①幼児教育・保育の質の向上

- ・親子でふれあう活動が多くあり、親子の関係を深めることができた。
- ・様々な経験を通じて、子どもたちそれぞれが喜び・楽しさを味わい充実した経験をすることができた。
- ・参観会では、親同士がコミュニケーションを取れる懇談会の内容であったりと、日常の子どもたちの様子を知ることができた。また、親同士の意見交換ができた。
- ・多様化していく社会の中で、活動もいろいろ工夫されていた。

②地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携

- ・地域との交流を通じて、運動の楽しさ、育てる喜び、ありがたさ等貴重な体験ができた。
- ・近年の異常気象や南海トラフなど、自然災害のリスクの高まりが危惧されていますので、有事の時に地域とのつながりが重要と思いますので、引き続き地域との連携につながる活動継続をお願いします。

学校教育課に対する外部評価

①小中一貫教育「学びの庭」構想の推進

- ・「学びの庭」構想は、すばらしい取り組みであり、今後とも学校と地域が一体となって“学校づくり”を進めていく必要があると思います。
- ・菊東学舎の場合、回覧板で地域住民に案内されており、これから地域住民の理解が深まっていくものと期待しております。
- ・P20の地域連携による体験事業の開催回数が大きく増え、担当者の努力が伺えます。ボランティアの募集に関しては、自治会文書以外で地区センターや商業施設への募集ポスター掲示なども検討してはどうか。

②ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり

- ・「魅力ある授業づくりの推進」「GIGAスクール構想の推進」等、菊川市のICT機器を活用した授業への取り組みはすばらしいと思います。
- ・小学生の低学年の児童から「ランドセルが重い」という声をよく聞きます。ノートパソコンの重さを測定したところ1.35kgでした。少し重すぎるのではないかと思います。
- ・P20の二つの指標がともに目標値を大きく下回り、年々数値が下がっていることが気になります。目標に掲げた「強肯定」の数値を上げるための再検討が必要であると思います。

③思いやりに満ちた学校づくり

- ・菊川市では、人権教育、福祉教育、心の教育、道徳教育、適応指導教育等一人ひとりの子どもたちを大切にする“学校づくり”が実践されていると思います。
- ・子どもたちの声に耳を傾け、心の痛みを理解し、寄り添う活動が学校教育の原点ですので、今後とも積極的な取り組みをお願いしたいと思います。
- ・いろいろな会議や研修会、施策が進められており、すべてA評価という結果から担当者のご苦勞に感謝申し上げます。

④「一人ひとりが生きる教育」の推進

- ・特別支援教育の推進、外国人児童生徒への教育支援については、大変きめ細かな指導、支援がなされていると思います。
- ・今後、外国人児童生徒の編入が増加してくることが予想されます。従って、日本語や各教科の学習支援体制をより強化していくことが必要だと思います。
- ・菊川市は他市と比べ外国人の児童生徒が多く、また、増加傾向にあるため、教育現場の負担を軽減するため今後も適切な対応が必要です。菊川市は総合計画に「外国人との共生」を掲げていることから、行政側からも教育委員会と連携し、更に踏み込んだ行政施策を進めていただきたい。

⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成

・教職員の育成指導については、研修会への参加、管理職による面接指導等適切に実行されていると思います。

・教員の世界は、他の業種と比べて交流する人間が限られています。(定年まで)従って、教員自身が意識的に他業種の方と交流を深めていくことも大切ではないでしょうか。

・P22アンケートの「学校に信頼できる先生がいる」小学校94.2%、中学校88.5%というすばらしい結果から、教員をはじめ、学校教育関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

教育総務課・学校給食センターに対する外部評価

⑥学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化

・細やかな点検を今後もお願いします。

・学校施設が災害に強くなるよう耐震化を図り、安全で快適な教育環境となるように点検や改修が実施されていることがわかりました。引き続き、学校環境が良好な状態を保たれるよう努めて頂きたいです。

⑦安全で安心して教育が受けられる環境づくり

・適正に評価されていると思います。

・誰もが等しく安心して教育が受けられるよう、家庭への支援(学用品、給食費など)に尽力して頂けていることがわかりました。保護者の経済的な理由や家庭環境(親の就労状況)によって、適した教育が受けられないという事が無いよう、柔軟に対応して欲しいと思います。

⑧安全でおいしい給食の安定的な提供

・学校給食は子どもたちや保護者にとって大変大切なものだと思います。気候の変化に伴い、材料の確保等ご苦労されていると思います。子どもたちへの体づくりに提供が持続されるようお願いします。

・食材や光熱水費などの値上げで給食を今までのように提供するのは大変だと思うが、子どもたちが食に興味関心が持てるよう、小中学校と連携をとりながら食育指導とても有難いです。

・給食残食率の増加は残念だが、色々食べやすい工夫した献立により、今まで食べたことのない食材を口にする経験となっていると思います。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

①地域で子どもを守り育てる活動の推進

・朝の登校時の見守りでスクールガードの皆さんに感謝します。

・祭りの存在ははずすことはできない。子どもたちに役目を与え、責任を持たせることにより、自己肯定感や自己存在感を味わってもらえる。大人との交流により、規律も学べ楽しみながら様々なことが学べる祭りは最高にすばらしい体験の場となる。

②家庭の教育力向上

・放課後子ども教室について、コロナの事もあり、何年も実施できていない学校があります。再開できることを願います。

・地元の地区では子供会の活動の様子を見たことがなく、地区によって子供会のないところがあります。

・菊川市は家庭教育支援員の数がとても少ないように感じる。社会教育委員になるともれなく家庭教育支援員になってもらうということでもいいかもしれない。なぜなら、今や社会教育活動は家庭も学校もすべて地域教育となっているからである。

社会教育課（生涯学習）に対する外部評価

③生涯学習活動の推進

・令和7年度のいきいきカレッジ菊川について、参加者人数も20名弱のちょうど良い人数でした。体操となると参加者の無い男性も数人おり貴重な存在でした。市内の会場で菊川地域の六郷地区センター、小笠地域の中央公民館と参加者の出やすい会場の設定が良かったです。この参加者がこれからも長く続けられ、生きがいとなってくれるようになることを望みます。

・「生涯学習活動の推進」ということで、若い人から高齢者までが対象で良いと思います。また、「いきいきカレッジ」は65才以上の方々で大変意欲的な、そして、積極的な方々が多かったです。これから「行きたいけど1人じゃ…」、「交通手段が無い」とかの人達をどうするか課題です。「今日用がある」、「今日行くところがある」キョウヨウとキョウイクのある生活を目指して、健康な高齢者の多い菊川市になったらと思います。

・ステップアップ講座の参加者が増えてきています。生涯学習活動が活発化して、講座数も増え、参加者同士の交流も深まってきています。ステップアップ講座が終了し、次の段階へと移行するように（例えば文化協会のサークルへ参加するよう）検討し、実施していただきたい。

・ステップアップ講座について、受講生の皆さんの、前向きで積極的な学習意欲というか、人と関わりたいという気持ちを強く感じます。ただ会っておしゃべりして人とつながりを感じたいと思っている人は多いです。講座を媒体にして人は集まりますから講師としてもただ勉強するだけでなく、広い意味の学びを体験してほしいと思っています。ただ、相変わらずどの講座も圧倒的に女性が多く、男性にも集まりやすい講座も考えてみてほしいです。例えば、酒の肴あれこれとか、旅行のお勧めとか、昭和発見とかどうでしょうか。自分自身、受講生として受けたい講座があっても曜日や時間が合わず泣く泣く断念という事が何回もありました。男性の場合はなかなか昼は難しいかもしれませんが、諦めずに講座を作り続けて下さい。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

④鑑賞機会の提供

・地区センターや体育館、回覧でアエルの行事を知り「行ってみたい」と思ってもチケットの購入とかに思い悩み、断念する事があります。簡単に入手する事ができたらうれしく思います。

・アエルでの様々な事業や開催については、とても努力していただいていると思う。ただ、催し物については、個人個人により好き嫌いがあり、ただ入場者数の増減だけで判断できない。内容の良し悪しもある。これからも大変でしょうが、努力を重ねてほしい。

⑤市民の文化・芸術活動への支援

・文化協会の会員数が減少している。登録団体の協力が必要です。

・絵画コンクール、書初め展、文化祭は市民の皆さまの協力がなくては開催することができないため、多くの作品の提出を期待します。

・リーチアウト事業は引き続き継続して行ってほしい。子どものうちから眼や耳を肥やしておくことは決して無駄ではない。

社会教育課（文化振興）に対する外部評価

⑥文化財の保存・周知・活用

- ・菊川市の横地城は国指定の史跡であり、中世の山城の遺構がよく保存されていると評価されています。菊川市埋蔵文化財センターによる具体的な保存作業が進んでいます。
- ・令和6年度には埋蔵文化財センターにて「ふるさと教本きくがわ」が刊行されました。この冊子には菊川の地の歴史が要領よくまとめられていました。また、この本の理解度を問う菊川歴史検定2級は県内でも珍しい試みでした。ぜひ1級も検討すべきだと思います。
- ・横地城の保存計画ですが、当初の構造への復旧・保存と樹木の伐採計画が進められていますが、福井県の朝倉一乗谷と横地城は構造が酷似しており、一乗谷は数百回の発掘の後ほぼ遺構は復元されました。奥横地地区には殿ヶ谷という字があり、領主の館址だと言われています。長期的見地から、この地の発掘も視野に入れてほしいと思います。
- ・以前にも記しましたが、郷土の歴史情報を収集し、発信するセンターとして、旧菊川町史編さん室の有効活用を提案します。

社会教育課（スポーツ振興）に対する外部評価

⑦誰もがスポーツに触れあう機会の創出

- ・特に若い女性、主婦の運動不足が目立ちます。若い時のツケが中年以降になって成人病とかの形で出てくるのが心配です。
- ・運動の習慣化が必要であるが、若いと子育て、仕事、家事等でなかなか時間がとれない。
- ・スポーツ協会、少年団への加入者数が減少していることは事実です。少子高齢化が原因とも言われていますが、それだけでは無いようにも思います。そして、実際、子どもの体力の低下が過去最低という結果が出ています。
- ・中学校の休日の部活動の地域展開について、どの子にも平等に部活動に参加できるようになって欲しい。そのためスポーツ協会も協力していかなければならないと思います。
- ・地域住民がやってみたいと思えるような雰囲気づくりと「続けたい」と感じるサポートの両輪が重要だと思います。参加者が継続してスポーツができる施策を今後ともよろしくお願いします。

⑧スポーツ団体・スポーツ活動への支援

- ・スポーツ協会の現状は、会員の高齢化で会員数の減少や競技協会の退会が出ている。例えばテニス協会の退会、グラウンドゴルフ協会内の小笠地域の解散など。これからの高齢化にとって社会参加と運動が必要となるのに残念です。
- ・市内の小学校にプロの選手を招いての指導を受けている。直接プロからの指導を受け、子どもたちにスポーツを始める良いチャンスになると思う。
- ・毎年、ライオンズクラブが主になって野球場で常葉高校、小笠高校、他県からの強豪高校を招待しての大会を開いている。多くの市民が応援に、そして、他市からの来場者もあり、大変良いと思う。
- ・総合型地域スポーツクラブの充実におけるB評価について、改善できるようにお願いします。
- ・スポーツ団体への資金物資面での支援だけでなく、運営や広報、人材育成など多角的なサポートが重要です。

⑨スポーツ活動の場の提供

・以前、スポーツ委員さんの(地区からの)なり手が無いと聞きましたが、現状はどうでしょうか。皆さん忙しい時代、しかし、健康な生活を送るにはスポーツが必要。そんな時だからこそ地区からのスポーツ推進委員さん、スポーツ委員さんの活発な活動に期待します。

・体育施設の老朽化が目立ちます。その財源の苦しいのもわかります。近隣市町の様子を聞いてみても同じ様です。これからは、市単独で野球場、競技場、プール等を持つのは無理で、広域で協力して建設していくしかないのかなとも思います。

・スポーツ施設の維持・管理・改善におけるB評価について、改善できるようにお願いします。

・施設面の整備及び利用制度、運営体制並びに情報発信、広報などこれらの仕組みが整うことで、スポーツ活動の場が地域の交流を支える場として進化していくと考えられるので、更なる向上と活動場の管理運営をお願いします。

図書館 事務事業に対する外部評価

⑩子どもの読書活動の推進

・読書習慣が身に付くには、乳幼児期からの取り組みが大きく影響すると思います。図書館等で本を選んだり、お話会に参加したり、親子で楽しむ姿が(父親も)見られます。ブックスタート活動や、家族ふれあいの場としての読書等の取り組みで、子どもや親の意識が高まってきているのだと思います。今後とも各施設や各団体とのつながりのもと、継続していただくとことで、さらに浸透していくことと思います。

・子ども司書や、青少年ボランティアやインターンシップの受け入れ等、年々活躍の場が増え、それが同年代の子どもたちにも刺激となり、以前より本への関心に目が向けられるようになってきていると思います。

⑪読書機会の提供と読書活動の啓発

・電子図書館の運営開始ということで、広報等での情報発信がされているものの、まだよくわからずにいる人もいます。引き続き繰り返しの情報発信をお願いします。

・大人向けのおはなし会やブックトーク等、図書館だけではもったいないです。(わかりやすく楽しかったです。)地域の集まりの場等、出前事業としてもいいのではと思いました。

・いろいろな工夫された企画が楽しみです。来館者にとっていい刺激となり、幅を広げて読みたい意欲が高まっていくのではないかと思います。

⑫読書環境の整備

・多様化する市民ニーズに対し、全体のバランスをとりながら蔵書管理を図られ、より多くの人の生涯学習の支援につながるようにとの配慮がありがたいです。大変ですが、今後共よろしくお願いします。

・市民との協働による図書館運営を図ることを目的としているように、ボランティアの輪が広がっていくといいです。直接的にかかわることで、図書館のよさや身近に本があることの大切さや利用の仕方等わかっていたら、その人たち(子ども司書、学生、ボランティア等)が、またまわりの人たちに生の声で良さを伝え、広めていってくれるのではないかと思います。

・菊川文庫2階の視聴覚室、展示室について、設備の点検・更新が必要だと思います。例えば展示ケースの蛍光灯、視聴覚室のマイク、スピーカー等です。

総評:教育委員会全般について

・総合教育会議が1回開催されたと記述されていますが(P11)いつ、どこで、どのような内容が議論されたのでしょうか。【教育委員会】

・激しい世の中の変化や様々な災害に対応できる力(読書、多くの経験、多様な価値観に触れる機会など)を更に育てていってください。

・この報告書を読ませていただき、改めて学校教育と社会教育の重要性を再確認いたしました。更なる発展や様々な課題の解決を図るためにも、行政や市議会との連携協力をお願いします。【教育委員会】

・文化財行政について、埋蔵文化財を中心とする「埋蔵文化財センター」(どきどき)、文字史料を中心とする「文書館」を両輪として、将来の菊川市の文化財行政を展望することが必要と考えます。その意味で、当面の課題として「文書館」的なものを実現することが必要と思います。【社会教育】

・コロナの影響がまだまだ元に戻っていないようです。例えば、ボランティア希望者と受入側とのコミュニケーションができていないように思います。文化祭には何人か来ていましたが、段々と減っていて今年は受け入れを止めています。もっと話し合いをして、子どもたちの育成に協力していかなければならないと思います。【社会教育】

・令和6年度のPTA活動で感じた事として、活動のほとんどが先生方がメインでPTAがちょっとしたフォローや手伝い程度でした。先生方への負担が多かったと思いますので、今年度からPTAとしての活動はありませんが、もう少し保護者側も巻き込んでバランスを調整してもいいと思いました。【幼児教育・学校教育】

・小笠北幼稚園の先生方は親・子どもに対して丁寧で、すばらしい先生方ばかりでしたので、今年度以降も同じ雰囲気、風通しの良い園を創ってほしいです。【幼児教育】

・菊川市の幼児教育に眼をやると、保育園では公立の牧之原保育園と4つの私立園、認定こども園は市立小笠北こども園の他私立園が8園という構成になっています。さらに私立の小規模保育事業所が4つあります。施設数は数が揃っているように見えます。しかし、私立の園が大部分であることに問題はないのでしょうか。公立の園は行政からの手厚い援助がありますが、私立の場合様々な困難に直面しています。ある保育園の場合、設立から半世紀近くとなり園舎や備品の修繕費がかさみ経営を圧迫しています。特に地域で運用している保育園は様々な課題を抱えています。私立の幼児教育施設への一層の支援が、菊川市へ移住を検討している若い夫婦の決断を促すことになるのではと考えます。【幼児教育】

・小学校での英語指導について、今の英語は特に5・6年生の英語は中学英語の前倒しの英語になっており、文部科学省が日本人は読み書きはできても話すことができる人が少ないとヒアリングとスピーキングに力を注ぎたいと小学校からの英語を導入しました。でも現在、ALTの先生方はストレスとジレンマを感じながら教えています。このままでは、子どもたちは話せるようにはなりません。ネイティブの英語の先生も菊川市には1人しかおらず、その先生も日本語が上手に話せるようになってしまっているので、児童たちは日本語で話しかけてしまっている始末です。ネイティブの先生もJETプログラムのように3年くらいで日本語の話せない先生に代えるようにした方がいいのではないのでしょうか。教育委員会も雇う時、日本語が話せれば楽だからと思うのですが、今後の先生のためや、日本人の教師のためにもその方がいいと思います。【学校教育】

・生涯学習において、長年大きな課題として様々な取り組みを行ってき下さっていることを改めて痛感します。その時々見つめ直しながら繋げてきていること、新たに生まれてきたこと、社会の変化とともに大変な仕事だと思います。ありがとうございます。多様化する中ですが、市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができるよう、地域社会、園、学校、家庭が連携しての取り組みを引き続きお願いします。【社会教育】

・変化が激しい現代ですが、今を見つめるだけにならないように、長い先をも見通した取り組みを、皆で行きたいと切に思います。(教育は特に)

総評:教育委員会全般について

・生活の中に日本の伝統文化として受け継がれてきたことが薄れてきていると痛感します。行事や食事、生活様式、言葉等いろいろな場で(学校で、家庭で、地域で)再認識し、老若男女皆が交わって伝えあっていくことが必要だと思います。【社会教育】

・今回の報告書を読み、教育委員会の皆様の活動がわかり、学校だけでなく子どもたちを取り巻く社会、文化、スポーツまで関わってくださっていることがわかりました。【教育委員会】

・中学から部活動を地域移行していくと聞いています。家庭の事情によって活動したくてもできないという事が無いように、みんなが活動できるような形になることを願います。【学校教育】

教育委員会自己点検・評価報告書

令和 7 年 8 月

菊川市 教育委員会 教育総務課

〒 437 - 1514

静岡県菊川市下平川 6225

TEL 0537-73-1136 FAX 0537-73-1119

E-mail : kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp